

### Ⅲ. 2016 年度事業実績詳細

#### I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

##### 1. 市民主体の国際交流活動推進事業

###### (1) 情報サービス事業

###### ◆ニュースレターの発行

日本語版と多言語版に分けて発行した。情報発信を基本的なコンセプトに、以下について毎月掲載した。

- ①協会のミッションとそれに基づく活動を伝えること
- ②在住外国人に関する基礎的情報を提供すること
- ③地域で生活する外国人へ多言語での情報

日本語版は「とよなか国際交流センターおしらせ」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を前面に掲載した。表紙のデザインは、地域の高校との連携推進の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校美術部の高校生ボランティアにお願いした。(日本語版：A4版4ページ2色刷り [85号～97号] 各月1700部)

また、外国人向けには8言語(基本的に英語、中国語、韓国朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)で事業案内や生活情報を発信した。(多言語版：A4版4ページ2色刷り [2016年4月号～2017年3月号] 各月700部) ※3月号よりフルカラー

###### ◆多言語メールニュースの配信

月1回(基本的に毎月第1金曜日)、メールニュース配信希望者には多言語ニュースレターの内容を8言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)でEメールにて配信した。(2017年3月時点のメールニュース配信数219人)

###### ◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の提供と収集事業。言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行い、新たにネパール語の新聞とフリーペーパー「ハラルライフ」が閲覧できるようにした。また、昨年度に引き続き半年毎に約100冊の多言語書籍が豊中市立図書館より団体貸出され、図書館との連携のもと図書の実質化を図った。これらの、図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成に努め、市民が利用しやすい環境を整えた。日本語能力試験等の検定試験受験を希望する外国人のためのサポート用のテキストや学習支援「学楽多」での教材購入を行った。民族衣装はボランティアが衣装修理を行い、利用者の多い韓国の楽器を点検、購入した。

###### ◆図書類(外国語図書(絵本)含む)

貸 出		貸出件数(件)	増 刷		購入件数(件)
総 数		66	総 数		68
【内訳】	一般図書	18	【内訳】	一般図書	6
	外国語図書(絵本含む)	48		日本語学習関係	17
	<内>中国語	(27)		辞書類	4
	スペイン語	(2)		絵本(日本語)	18
	ネパール語	(3)		資料	2
	タイ語	(11)		外国語図書(絵本含む)	11
	ポルトガル語	(1)		学習教材	10
	フィリピン語	(4)			

◆定期刊行物

内 容		購入点数(単位：冊)	フリーペーパーなど(単位：誌)
定期刊行物	日本語新聞	3	
	雑誌・機関紙等	1	5
	外国語新聞	4	4

◆民族楽器、民族衣装、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計：
貸出件数)	12	2	5	19
購入 (件数)	0	7	12	

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードを設置し、利用期限を区切り自由に個人的な情報交換ができるようにした。

利用件数：31 件

◆ホームページ

協会のホームページの随時更新（協会の年間ホームページ訪問者数 19,859 件、多言語での情報提供ページの訪問数は 1,369 件）。

主催事業などの新着情報を随時更新した。日本語及び多言語のニュースレターを毎月発行後にホームページ上でも読めるよう掲載した。イベント情報を外国人向けに多言語で随時更新した。新聞記事も随時掲載した。

◆SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

主に Facebook を利用し、毎日の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などをほぼ毎日継続して行った。協会の Facebook ページの「いいね！」数 628（昨年度より 98 増）。

◆ソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドウ)」

社会課題に対して「NPO・NGO」「企業」「消費者」の 3 者が協力をしているソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドウ)」に参加している。消費者が、目的に賛同する NPO や NGO に寄付で支援できるもの。今年度の支援金合計は 56,374 円だった。

◆プレスリリースの発行：毎月メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

◆無料インターネット利用：140 件（うち外国人 11 件）

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し／内 容
5 月 3 日	東京新聞	偽装離婚大国ニッポン
2 月 3 日	毎日新聞	比女性介護で過酷労働
3 月 10 日	静岡新聞	国際結婚シンポジウム

◆取材協力

- ・共同通信社（協議離婚問題について） 6 月 16 日、19 日、11 月 30 日に取材受入
- ・毎日放送（相談事業でかかわっている労働問題の訴訟について）7 月 17 日

（2）市民活動協働事業

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」の開催

センター登録グループや事業ボランティアによる実行委員会の主催で「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。センターで活動する登録グループに成果発表の機会ともした。

実施日時	9 月 10 日（土）10：00～16：00	場所	とよなか国際交流センター	参加者数のべ	3,200 人
内 容	<とよなか国際交流フェスタ> ・とよなか国際交流センターで活動する登録グループによる活動発表会 ・市民グループによるバザー・出店、エスニック料理 ・福祉のお店コーナー				

## ◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会をつくり、『2011とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動がより活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を試みた。その後(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民公益活動協議体らつぷが参加、市民ネットきずなの解散を経て現在の6団体となる。

2016年度は、情報発信の手段として6団体それぞれの活動報告や事業案内を掲載した「壁新聞」(19～21号)を発行した。今年度の壁新聞も、各発行ごとに共通のテーマ(秋のイベント案内/2016年度の新たな取り組み/2016年度の振り返り)を決め、中間組織としての役割に関する記事を掲載するなどの工夫を行った。

会議実施日	内 容 (場所)
4月28日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
6月30日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
8月12日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)「壁新聞19号」発行
9月23日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
10月20日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
12月15日	5団体打合せ(市民活動情報サロン)、「壁新聞第20号」発行
2017年1月26日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
3月末	「壁新聞第21号」発行

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するために、地域で活動する国際交流市民団体・グループの運営側面支援の取り組みを以下の通り行った。

日付	取り組みの内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「とよなかJSL」「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援、及び両者が実施する事業と連携して子どもの日本語と就労をめざす外国人のための日本語サポート事業を協働で推進した。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
6月12日、7月24日、8月28日、10月16日、3月12日	とよなか国際交流センター登録グループとの連絡会議を5回開催し、実行委員会形式を重ね、地域の国際交流団体がともに考え創る「第2回とよなか国際交流フェスタ」を2016年9月10日(土)に開催することができた。また、2017年度も実行委員会形式をもって、さらに充実した「第3回とよなか国際交流フェスタ」を9月上旬に開催することを決めた。 市民団体の環境向上及び登録団体の活動の発信等にむけ、関係団体へのヒアリングを始めた。

## ◆しょうないREKへの協力

2005年、豊中市の「市民公益活動推進条例」に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が立ち上げられた。(しょうないREKはR:Recycleリサイクル、E:Eventイベント、K:かわら版を合わせた造語)。特に豊中市南部地域での連携を重点化するため、実行委員会に定期参加し、瓦版の執筆やイベントへの参加を行った。

2014年度から引き続き、庄内にて外国人親子を対象とした高校進学説明会に関わった。しょうないREK事務局や教育委員会関係部署と共に中心的に運営を行い、昨年度以上の参加や機関連携が実施できた。また、「世界の庄内音楽ワークショップ」(豊中市主催、1月11日～2月24日開催)と「世界のしょうない音楽祭」(しょうないREK・豊中市主催、2月25日開催)について、外国人の参加者の呼びかけや、韓国のサムルノリ演奏グループ・ペルーのダンスグループなどのステージ発表者の紹介を行った。

### ●しょうないREK実行委員会

開催日	4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、9月15日、10月20日(欠席)、11月17日、12月15日、1月19日、2月16日(欠席)、3月16日(欠席) (計11回、うち9回出席)
場 所	庄内図書館

●その他の取組

- ・外国人親子に向けた高校進学説明会@しょうない開催（庄内公民館） 7月10日 13:00～16:00
- ・「ええやん！しょうない瓦版〈4月号〉」子ども事業・子ども国際事業お知らせ掲載
- ・「国際交流フェスタ」古本バザー（とよなか国際交流センター）9月10日

◆市民団体との連携および運営支援

地域で活動する国際交流目的の市民団体の活動支援を随時実施した。

- ・国際交流センターの登録グループ（25団体）との連絡会議を5回開催し、ニーズの把握を行った。
- ・団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。また、国際交流センターの登録団体のページ作成及び意見交換を目的に、ヒアリングを始めている。さらに、市民団体の運営協力も行う他、市民団体との事業に共催・後援を行った。

◆その他

- ・今年度も昨年度に引き続き、市民活動情報サロンと男女共同参画推進財団ととよなか国際交流協会の三者による豊中駅前活性化を推進するために、「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ！」を企画した。相乗効果により、多くの人が駅前地区に足を運ぶこととなり、第2回国際交流フェスタにも多くの来場者があった。来年度も継続して企画運営することになっている。

（3）留学生ホストファミリー事業

◆世話人会定例会：メンバー12人 毎月第3木曜日 全12回実施

◆ホストファミリーボランティア数：登録家族121家族（うち新規登録26家族）

◆登録説明会 ※単位：家族

実施日	参加家族数	登録家族数	新規登録家族総合計
6月19日	20	11	26家族
3月12日	23	15	

◆留学生とのマッチング数 ※単位：組

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	16	49	65	79
JASSO	14	—	14	

◆交流会 ※単位：人

実施日	内 容	参加者数	留学生数	参加者総数
5月25日	万博で遊ぼう！日本庭園見学	75	33	108（30家族）
11月7日	ポットラックパーティ（すてっぷホール）	63	22	85（27家族）
	合 計	138	55	193（57家族）

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等 ※単位：人

実施日	学校名	内 容	参加者数
4月6日	大阪大学	春期対面式	52
5月9日	JASSO	対面式	50
8月5日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
9月9日	大阪大学	日本語日本文化研修生修了式	3
9月23日	JASSO	打合せ	4
9月29日	大阪大学	秋期対面式①	52
10月5日	大阪大学	秋期対面式②	11
10月8日	大阪大学	秋期対面式③	58
2月16日	大阪大学	留学生支援連絡協議会	1
2月24日	JASSO	来期についての打合せ	3
2月28日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
3月15日	JASSO	卒業式	2
		合 計	242

## ◆ニューズレターの発行（年2回）

<主な掲載内容>・特集（毎月号）／ホストファミリーと留学生の交流体験談／留学生コラム／いわせてあれこれ～交流に関するいろいろなお話～／活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	活動報告
7月7日	60号	世界のお料理レシピ ～アジア編～	ブラジル ミャンマー	大阪大学春の出会いの会、JASSO 大阪日本語教育センター対面式、ホストファミリー登録説明会、万博ピクニック
12月1日	61号	留学生の就職事情	マレーシア ギリシャ	とよなか国際交流フェスタ、大阪大学秋期出会いの会、ポットラックパーティー

## ◆協会イベント「とよなか国際交流フェスタ」への参加

9月10日「世界の飲み物&子どもコーナー」お手伝い

## 2. おとな国際事業

### （1）にほんご活動事業

#### ◆もっともつつかえるにほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん

日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営され、外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流をはかる場として週4日定着して開催した。また、5月と3月に日本語ボランティアの交流会を行った。

事業名	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数（うち外国人）	のべ実施回数
もっともつつかえるにほんご	月曜	10:00～12:00	919人（368人）	44回
とよなかにほんご・木ひる	木曜	13:30～15:30	1,504人（698人）	43回
とよなかにほんご・金あさ	金曜	10:30～12:00	3,632人（1525人）	48回
にちようがちゃがちゃだん	日曜	10:00～12:00	773人（466人）	38回
総合計			6,828人（3057人）	173回

#### ●交流活動・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加人数（うち外国人）
もっともつつかえるにほんご	5月9日	世界の料理	24（11）
	8月22日	そうめん体験	17（6）
	12月19日	お餅つき	26（13）
とよなかにほんご・木ひる	6月30日	料理会	44（24）
	12月15日	ポットラックパーティー	40（19）
	3月30日	遠足（くらし今昔館）	20（5）
とよなかにほんご・金あさ	6月3日	料理会	40（21）
	6月24日	七夕まつり	94（36）
	2月5日	豆まき、バザー	81（31）
にちようがちゃがちゃだん	10月30日	料理会	27（19）
	12月18日	お茶会	29（26）

#### ◆おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人の居場所を提供するため、岡町図書館、庄内図書館、千里図書館において、国際交流センター以外の公的な場で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

おかまち・しょうない・せんり/おやこでにほんごの参加者合計 1,309人（うち外国人 459人）

●おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館 3階、とよなか国際交流センターなど		
活動期間	2016年4月12日～2017年3月21日までの39回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間(78時間)		
人 数	ボランティア登録者数(8人)、のべ参加者数(412人)		
うち外国人大人	70人	うち外国人子ども	62人
うちボランティア大人	166人	うちボランティア子ども	114人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月12日	おしゃべり会	11月1日	お話し会
4月19日	おしゃべり会	11月8日	倉庫の片づけ
4月26日	おしゃべり会	11月15日	今月の歌開始、ラジオ体操、かぎ編み
5月10日	おしゃべり会	11月22日	おしゃべり会、編み物練習
5月17日	おしゃべり会	11月29日	お料理会
5月24日	お料理会 ドイツパンプレッツェル	12月6日	みかん狩り
5月31日	お誕生日会	12月13日	エコタワシ作り
6月7日	絵本の表紙で手提げ袋作り	12月20日	お楽しみ会
6月14日	おしゃべり会	1月8日	ジンジャーブレッドとクッキー作り
6月21日	かぶと作り	1月17日	おしゃべり会
6月28日	お皿のペイント	1月24日	水餃子パーティ&おやこ同窓会
7月5日	おしゃべり会	1月31日	お誕生日会
7月12日	お料理会 キャラ弁当	2月7日	お料理会 豚まん、おかゆ
9月6日	おしゃべり会	2月14日	おしゃべり会
9月13日	おしゃべり会	2月21日	お料理会 豆腐ブラウニー、ベーグル
9月20日	"日本語の学習	2月28日	おしゃべり会
9月27日	新聞びりびり	3月7日	おしゃべり会
10月4日	おしゃべり会	3月14日	おしゃべり会
10月18日	七夕製作	3月21日	おしゃべり会
10月27日	ぞうさん公園で防災ピクニック		

●しょうない・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立庄内図書館 3階研究室、公民館、公民館調理室など		
活動期間	2016年4月19日～2017年3月7日までの30回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間数(60時間)		
人 数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(294人)		
うち外国人大人	66人	うち外国人子ども	25人
うちボランティア大人	128人	うちボランティア子ども	75人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月19日	おしゃべり会	10月25日	Halloween パーティー
4月26日	おしゃべり会/被災地に送る本の仕分け	11月1日	おしゃべり会
5月10日	学資保険について勉強会	11月8日	ペーパーリースづくり おしゃべり会
5月17日	物々交換 おしゃべり会	11月5日	おしゃべり会
5月24日	おしゃべり会	11月22日	おしゃべり会
5月31日	おしゃべり会	11月29日	おしゃべり会
6月7日	出産祝いのおむつケーキ作り	12月13日	お正月の飾りつけ
6月14日	新V見学 おしゃべり会	1月17日	おしゃべり会
6月21日	新V見学 おむつケーキ続き	1月24日	おしゃべり会
6月28日	新V見学 おむつケーキ続き	1月31日	旧正月を祝う 中国の餃子を作って食べる
7月5日	七夕笹つけ	2月14日	おしゃべり会
7月12日	持ち寄りパーティー	2月21日	おしゃべり会
9月13日	おむつケーキ飾りつけ	2月28日	おしゃべり会
9月23日	Halloween パーティー打ち合わせ	3月7日	おしゃべり会
10月4日	おしゃべり会		
10月18日	おしゃべり会		

●せんり・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立千里図書館集会室 他		
活動期間	2016年4月19日～2017年3月7日までの32回		
活動時間	毎週火曜日午前10時～12時、総活動時間数(64時間)		
人 数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(603人)		
うち外国人大人	146人	うち外国人子ども	90人
うちボランティア大人	280人	うちボランティア子ども	87人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月19日	おしゃべり会	10月18日	おしゃべり会
4月29日	お料理会(柏餅)	10月25日	工作(キャンディーBOX)、仮装
5月10日	物々交換会	11月1日	おしゃべり会
5月17日	おしゃべり会	11月8日	みかん狩り
5月24日	お料理会(キャラ弁)	11月15日	ヨガ教室
5月31日	講座「ゴミ収集」	11月22日	お料理会(湯葉、おにぎり)
6月7日	おしゃべり会、工作(紙トンボ)	11月29日	工作(冬のカード作り(切り絵))
6月14日	工作(プラバン)	12月6日	お楽しみ会@国流
6月21日	おしゃべり会、物々交換会	1月17日	書初め
6月28日	お料理会(そうめん)	1月24日	おしゃべり会、工作(凧)
7月5日	七夕会、お誕生日会	1月31日	お料理会(お汁粉、漬物)
7月12日	持ち寄り歓迎会、お疲れさま会	2月7日	工作(パレンタイン)
9月13日	講座「母語保持の必要性」	2月14日	おしゃべり会
9月27日	お料理会(肉まん)	2月21日	工作(コサージュ作り)
10月4日	講座「救命救急講習(乳幼児向け)」	2月28日	お料理会(稲荷ずし、デザート)
10月11日	物々交換会	3月7日	持ち寄り送別会

●フォローアップ研修

日 程	2017年1月10日(火) 午前9時半～11時
場 所	とよなか国際交流センター C.C.スペース
講師	佐藤千佳(NPO法人多文化共生センター大阪)
テーマ	他団体による外国人母子支援について学ぶ
参加者数	24人

●職員研修の受け入れ

日 程	2016年9月8日(木)
内 容	豊中市職員2年目 福祉体験受け入れ
参加人数	のべ6人
受入先	「とよなかにほんご・木ひる」

◆豊中市及び大阪府の教育行政・関係者との連携(識字・日本語豊中連絡会)

日 程	内 容	場 所
5月30日	識字日本語連絡会 会議	豊中市役所
10月16日	第27回「よみかき交流会 2016」	大阪府教育センター
11月16日	識字・日本語豊中連絡会 社会見学 見学先「国立民族学博物館」	国立民族学博物館
11月17日	夜間学級総合学習発表会	豊中市立第四中学校
1月13日	識字日本語連絡会 会議	豊中市役所
1月19日、20日、22日	識字日本語教室聞き取り調査(木ひる、金あさ、にちようがちゃがちゃん)	とよなか国際交流センター
2月10日	識字・日本語豊中連絡会 指導者研修会 講師:丸山敏夫 「識字・日本語ボランティアのためのブラッシュアップ研修」	とよなか国際交流センター
2月26日	識字・日本語豊能ブロック 交流会 テーマ「知りあう、つながる、学びあう」	箕面市立箕面文化・交流センター
2月27日	識字・日本語学習シンポジウム	マイドームおおさか

## (2) 多文化共生推進事業

### ◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人を対象に異文化にふれる機会づくりとして、また講師となる外国人のエンパワメントにつながる機会づくりとして世界を食べようを開催した。昨年度より、多文化共生推進事業として実施。講師は、地域在住の外国人が担当した。今年度は3回の開催。(会場はすべてとよなか国際交流センター料理室)

実施日	内容	参加者数 (うち外国人)
7月14日	第1回 ベトナム編	18 (3)
11月24日	第2回 モロッコ編	16 (1)
3月9日	第3回 ルーマニア編	16 (1)
		合計: 50 (5)

### ◆多文化・多言語セミナー

近隣地域在住の日本人向けに異文化理解・多文化共生理解促進のための講座を開催した。今年度は、フィリピンバターン州の教育関係者および保護者を講師に招き、現地の学校生活や教育事情などについて意見を伺った後、参加者との意見交流を行った。

実施日	内容	講師	参加者数 (うち外国人)
7月16日	フィリピンの学校を知ろう～現場の先生が語るフィリピン教育事情のいま～	モデスタ.B.アブランテスさん (教育委員会公立学校校区スーパーバイザー)、ミルナ.E.カスティッロさん (バターン州エミリオCベルナベ国立ハイスクール校長)、イメルダ.C.エストラダさん (バターン州ビヌカワン小学校ヘッドティーチャー)、ジュリー.P.パシレスさん (ガブリエラ女性政党地域コーディネーター)	37(9)

### ◆通訳派遣

中間支援組織を対象として、外国人の生活支援要請案件に通訳ボランティアを派遣するものである。2014年度にコミュニティ通訳ボランティア養成講座を実施し、その受講者をボランティアとして登録している。今年度継続登録をしたコミュニティ通訳ボランティアは5人 (英語3人、中国語1人、フランス語1人)。

今年度は豊中市社会福祉協議会から2件の要請があり、英語ボランティアを派遣した。

### ◆外国人のための茶道教室

地域の外国人が日本文化にふれる機会づくりとして、茶道教室を開催している。2015年度より、多文化共生推進事業として実施。12月からは「とよなかにほんご木ひる」の日本語交流活動のあとに概ね月1回のペースで「木ひる茶会」も開催している。(会場はすべてとよなか国際交流センター和室)

	実施日	参加者数 (うち外国人)
第1回	6月18日	7 (5)
第2回	3月4日	12 (9)
木ひる茶会 3回	12月1日、2月2日、3月2日	38 (13)
		合計: 57 (27)

### ◆外国のための武道体験

スポーツ振興事業団「侍プロジェクト」との共催事業として実施。スポーツ振興事業団とかかわりのある講師が外国人に向けて指導し、一緒に参加したボランティアとも武道を通して交流の場となった。空手、剣道の会場はとよなか国際交流センター、合気道は講師の厚意で道場へ出向いて体験した。

内容	実施日	参加者数 (うち外国人)
空手①	8月28日	26 (21)
空手②	10月23日	13 (7)
剣道	12月2日	9 (5)
合気道	2月13日	22 (15)
		合計: 70 (48)

### ◆国流シネマカフェ

今年度からの新規事業で、懐かしの映画を鑑賞し人権や多様性に関するあり方について、参加者同士の感想や意見交流を通して、多様な考え方や人間関係のあり方や社会的課題等についての新たな気づきにつなげる。

今年度は初年度ということで、計画的な日程や映画のニーズも図らずに3回上映会を行った。初回は5人しか参加がなかったが、2回目3回目には、参加者が15人を超えるようになった。後半期に参加者や職員・スタッフ等に映画の希望調査をし、次年度はその希望映画を上映することとする。開催日時は、5・8・11・2月の第3土曜日 18:30~20:30 (場所はいずれも、とよなか国際交流センター) を予定している。

	日・曜・時間	映画の題名	参加者数 (うち外国人)
第1回	8月19日(金) 18:00~20:00・	カッコウの巣の上で	5 (2)
第2回	11月26日(土) 18:30~20:30	いまを生きる	16 (7)
第3回	3月18日(土) 18:30~20:30	ホテル・ルワンダ	17 (2)
			合計: 38 (11)

## 3. 持続可能な地域づくり事業

### (1) メディア・リテラシー市民ゼミナール

#### ◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	2017年2月11日(土)、18日(土)
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	のべ30人(うち外国人6人)
テーマ	メディアリテラシー入門講座 ~テレビがみせる「外国人」とは誰か~ (~「外国人」って誰のこと?~)
講 師	田島知之さん(京都府立大学非常勤講師) / 登丸あすかさん(文京学院大学助教)
ワークショップ内容	・メディアリテラシーとは何か ・テレビを「分析」してみよう ・メディアが構成する「現実」 ・メディアが提示する価値観 ・トランプ大統領とメディアの在り方について ・映像言語を学ぶ(外国人像から)

①参加者同士の「対話の文化」を作ること、②参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、③マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の促進を目指している。

2015年度に引き続き、「メディア入門講座」としてメディアリテラシーに初めて接する人にも参加しやすいような構成や日程(土曜日の午後の時間帯に二週連続開催)で開催し、昨年度より多くの参加があった。初めての参加者の中には、細かな分析作業やテーマ設定になれない人もいたため、2日目はより内容に工夫をこらした。ワークショップは、参加者同士の意見交流が活発で、映像分析に初めて取り組む人も多い中、充実した2日間となった。

### (2) 持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し2005年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESDとよなかは、豊中市(関係5課)と市民活動中間支援団体(6団体)が事務局会議を行い、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。今後の活動について、昨年度の検討を踏まえ、今年度新たな10年に向けたESDとよなか連絡会議をスタートさせた。各構成団体の取り組み状況の共有を行い、さらにテーマを「子ども」にしぼって課題や今後の連携等について議論を行った。ESDセミナーは「こどもクッキング」と称して、3月26日、3月27日の2日に亘って開催した。26日は佐藤友紀さん(開発教育協会)を講師に迎え、添加物と栄養について実験とゲームを通して考えた。27日は三崎恵子さん(管理栄養士)を講師に迎え、冷蔵庫の余りものを使って栄養を考えた昼ご飯を作った。ESD活動の大切さと意義深さを「子ども」をテーマに再確認でき、連携を深めることができた。

◆2016年度 ESD とよなか連絡会議

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	構成団体&機関名
5月17日 7月12日 9月2日 11月4日 1月27日 2月24日 3月26日 3月27日	12 (1) 13 (1) 9 (0) 10 (0) 11 (0) 11 (0) 29 (0) 21 (0)	とよなか国際交流センター 環境交流センター 男女共同参画推進センターすてっぷ 豊中人権まちづくりセンター とよなか国際交流センター とよなか国際交流センター 環境交流センター 中央公民館	NPO 法人 とよなか市民環境会議アジェンダ 21、一般財団法人 とよなか人権文化まちづくり協会、一般財団法人 とよなか男女共同参画推進財団、公益財団法人 とよなか国際交流協会、社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会、赤ちゃんからの ESD、豊中市[環境政策課、市民協働部千里地域連携センター、人権政策課、生涯学習課]
合計	116(2)		

◆国際理解教育などの講師の派遣など <のべ64件、126人(21カ国)を派遣>

	実施日	派遣先、内容	講師(出身あるいは職員 の別を記載)	人数
1	5月10、17日	庄内子どもの杜幼稚園(国際理解)①	モロッコ	1
2	5月18日	ひろしま国際センター(ひろしま多文化共生連絡協議会における講演会)	職員	1
3	5月22日	生駒市図書館(外国にルーツを持つ子どもたちに関する取り組み)	韓国、職員	2
4	6月2日	大阪府立芥川高等学校(修学旅行事前学習)	台湾	1
5	6月6日	豊中市立第二中学校	職員	1
6	6月8日	豊中市立小中学校教育研究会	職員	1
7	6月8、16日	庄内子どもの杜幼稚園(国際理解)②	モロッコ	1
8	6月15日	灘高等学校(倫理:イスラームを学ぶ)	エジプト	1
9	6月16日	大阪府立福井高等学校(異文化理解・多文化共生)	中国、韓国、ネパール、パキスタン、タイ、ベトナム、フィリピン	8
10	7月1日	大阪府立長吉高等学校(ヒューマンライブラリー)	職員	1
11	7月1、4日	大阪府立刀根山支援学校・大阪大学医学部付属病院分教室①(小中学生向けの英語外国語学習)	ルーマニア	1
12	7月12日	大阪府立豊中支援学校①(英語学習)	フィリピン	1
13	7月7日	豊中市役所(こども政策課人権研修)	職員	1
14	7月19日	豊中市役所(人権政策課主催~外国人の抱える課題、今後に向けての取り組み~)	職員	2
15	8月2日	とよなか国際交流センター(千里高校スーパーグローバルハイスクール講座)	職員	1
16	8月9日	豊中第四中学校(豊中市教員2年目研修)	職員	1
17	8月31日	豊中市立克明小学校①(教員向け運動会ダンス指導)	職員	1
18	9月5日	豊中市立克明小学校②(小学1・2年生向け運動会ダンス指導)	職員	1
19	9月27日	TIFA 日本語ボランティア研修	職員	1
20	9月29日	とよなか国際交流センター(多文化共生社会にむけたとりくみ・とよなか大学院)	職員	1
21	10月1日	和歌山県・打田生涯学習センター(日本語ボランティア養成講座)	職員	1
22	10月4、11日	庄内子どもの杜幼稚園(国際理解)③	モロッコ	1
23	10月12日	大阪市立南小学校(中国文化にふれる)	中国	1
24	10月6日	豊中市立桜井谷東小学校(多文化共生教育「人にやさしいまちづくり」)	職員	1
25	10月8日	八幡屋地域識字・日本語交流教室養成講座	職員	1

26	10月15日	摂津市立第三中学校（大阪府教職員組合研究集会分科会「国際連帯と在日朝鮮人教育」）	職員	1
27	10月21日	摂津市立老人福祉センターせつつ桜苑（摂津いきいきカレッジ「外国人問題について」）	職員	1
28	10月25日	池田市役所（池田市人権リーダー養成講座）	職員	1
29	10月28日	豊中市立克明小学校③（生活科いのちの学習）	職員	1
30	11月4、8日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）④	モロッコ	1
31	11月5日	豊能地区教育改革フォーラム（ちがいを豊かさに出会いをぬくもりに）	職員	1
32	11月11日	豊中市立第六中学校（福祉・ボランティア学習）	日本	1
33	11月12日	すてっぷ（豊中市子ども未来部子ども政策課・ライフデザイン支援公開講座）	職員	1
34	11月12日 12月17日	八幡屋地域識字・日本語交流教室「親子参加型教室」フォローアップ講座	職員	1
35	11月24日	大阪府立豊中高等学校（異文化交流 HR）	ベトナム、エジプト、韓国、フィリピン、ルーマニア、中国、タイ、モロッコ、職員	9
36	11月25日	大阪市立阿倍野市民学習センター（あべの日本語読み書き教室 公開ボランティア研修）	職員	1
37	11月28日	淀川区子ども・子育てプラザ（外国にルーツのあるファミリー応援講座）	ペルー	1
38	11月29日	桜井谷小学校（1年生「いろいろな国のあそびや歌を知ろう！～多文化共生～」）	マレーシア、中国、ベトナム、タイ、フィリピン	5
39	12月1日	大阪府立池田高等学校（多文化共生）	エジプト、韓国、フィリピン、ルーマニア、中国、タイ、モロッコ、職員	9
40	12月2日	大阪市子ども家庭支援員現任研修（外国にルーツのある親子に出会うとき～実際の支援を考えよう～）	職員	1
41	12月2、13日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）⑤	モロッコ	1
42	12月6日	大阪府立豊中支援学校②（英語学習）	フィリピン	1
43	12月14日	大阪府立千里高等学校（相互理解講座）	韓国、エジプト、フィリピン、ペルー、パキスタン、中国	6
44	1月13日	山下めぐみ園（いろんな国、いろんな文化との出会い）	フィリピン	1
45	1月17日	長吉高等学校（「自分らしさ」とは...）	職員	1
46	1月18日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）⑥	モロッコ	1
47	1月24日 2月8、9日	豊中市立蛭池小学校（多文化共生教育）	ペルー、モロッコ、職員	3
48	1月24日	大阪府立豊中支援学校③（英語学習）	フィリピン	1
49	2月7日	庄内子どもの杜幼稚園（国際理解）⑦	モロッコ	1
50	2月9日	くらしかん（ESD ネットワーク・若者が抱える課題と国際交流協会の取り組みについて）	職員	1
51	2月10、17日 3月10日	とよなか国際交流センター（府外教ホームページ「世界のこんにちは」収録）	ネパール、中国、韓国、フィリピン、ベトナム、ブラジル、ペルー、タイ、インドネシア、ロシア、フランス、モロッコ、日本	14

52	2月12日	千里北町近隣センター（コミュニティ政策課より・地域在住外国人とともに暮らすとは、多文化共生など）	職員	1
53	2月17日	とよなか国際交流センタ（豊能地区市外教研修会）	職員	1
54	2月20日	市立豊中病院（人権研修～外国人が抱える課題について～）	職員	1
55	2月23日	千里文化センターコラボ（日本語ボランティア養成講座）	職員	1
56	2月23日	豊中市立豊南小学校（十中校区英語コアスクール研究発表）	ペルー、ブラジル、フィリピン、ベトナム、イギリス、オーストラリア、中国、日本	10
57	2月23日	豊中市立文化芸術センター（豊中青年会議所・豊中市と国際について）	中国、ネパール、フィリピン、ペルー、フランス	5
58	2月28日 3月3日	大阪府立桜塚高等学校（韓国異文化研修事前学習会）	韓国	1
59	3月1日	大阪大学豊中キャンパス（未来共生セミナー）	職員	1
60	3月4日	八幡屋地域識字・日本語交流教室（教室運営にかかる課題や疑問などについて意見交換）	職員	1
61	3月6、8日	大阪府立刀根山支援学校・大阪大学医学部付属病院分教室②（小中学生向けの英語外国語学習）	インドネシア	1
62	3月8日	静岡市女性会館（外国人女性支援講座）	職員	1
63	3月9日	豊中市立千成小学校（多文化共生教育）	職員	1
64	3月22日	ぐーてん（講師の国のお話と交流会）	ペルー	1
合計				126

#### ◆その他

##### ●幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオングループが行っているもので、毎月11日の買い物時に発行される黄色いレシートを客が地域の応援したい団体の投函BOXへ入れると、買い上げ金額合計の1%が希望する品物で寄贈される。「ダイエー曾根店」にて参加している。

期間	金額	贈呈品
2016年 上期（2015.3～2016.8）	¥15,625	エプロン、陶器、文具
下期（2016.9～2017.2）	¥9,003	オーブントースター、ドライヤー、文具

##### ●「外国人児童生徒のためのJSL（Japanese as a Second Language, 第二言語としての日本語）対話型アセスメントDLA」使い方研修

学校現場や地域で子どもの日本語指導に関わる人などを対象に、文部科学省が開発した「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」の活用方法に関する使い方研修を、東京外国語大学との共催という形で実施した。関西を中心に、東海や九州からも参加者があった。

実施日	テーマ	主催	参加者数
3月3日 10:00～16:00	「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA」使い方研修	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター（共催：公益財団法人とよなか国際交流協会、後援：豊中市教育委員会）	56

#### 4. 持続可能な人づくり事業

##### (1) ボランティア研修事業

###### ◆2016年日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	11月1日	在日外国人の歴史と現在の課題(公開講座)	田中宏 (一橋大学名誉教授)	53 (3)
第2回	11月8日	参加型で考える、わたし・地域・ボランティア	上村有里(とよなかESDネットワーク)	23 (0)
第3回	11月15日	とよなか国際交流協会の取り組みと日本語交流活動について	山野上隆史(とよなか国際交流協会事務局長)	27 (0)
合計				103(3)

###### ◆千里にほんご 日本語ボランティア養成講座(千里地域連携センター)

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	2月9日	ヒューマンライツとは何か	松本城洲夫 (イタリア生活文化交流協会)	24 (0)
第2回	2月16日	参加型で考える、わたし・地域・ボランティア	上村有里 (とよなかESDネットワーク)	21 (0)
第3回	2月23日	とよなか国際交流協会の取り組みと日本語交流活動について	山野上隆史 (とよなか国際交流協会事務局長)	25 (0)
合計				70(0)

###### ◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何ができるかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しょうない・おやこでにほんご」、「多文化保育にここ」のボランティアとして活動し始めた。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 5月26日	「日本における外国人の現状と課題」	山野上隆史 (とよなか国際交流協会事務局長)	24 (2)
第2回 6月2日	(公開講座)「じぶん まる!~性って誰かに決められるもの?!~」	田中一歩さん、近藤孝子さん (セクシュアルマイノリティのこどもたちの居場所づくり にじいろ i-Ru (アイル) スタッフ)	50 (6)
第3回 6月9日	とよなか国際交流協会の取り組みと「おやおでにほんご」活動紹介 ※時間はいずれも10時~12時	山本愛(とよなか国際交流協会職員) おやおでにほんごのボランティア	24 (2)
合計			98 (10)

###### ◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

テーマについて参加者みんなで問うたり、意見を出し合うスペースづくりを、「哲学カフェ」を実践しているカフェ・フィロや大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室の大学院生、大学生と共に創出した。開催曜日や時間を工夫して、テーマに興味のある人が参加できるように試みた。また「女性のための哲学カフェ」を開催し、女性が安心して話せる場を作った。進行役、ボランティア、協会職員が一緒に話し合いテーマを決定し、チラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第1回	6月18日	引っ越して変わることは?	川崎他唯史(大阪大学大学院)	13 (1)
第2回	9月17日	女性のための哲学カフェ「安心」ってなんだろう?	萩原彩香(大阪大学)	12 (0)
第3回	1月28日	さぼりたい?	鈴木径一郎(大阪大学職員)	14 (1)
合計				39 (2)

### ◆学生受け入れ

大阪大学大学院人間科学研究科および大阪市立大学大学院より、以下4人のインターン学生を受け入れた。

大阪大学大学院人間科学研究科	Y.S さん	「おまつり地球一周クラブ」運営業務など
大阪大学大学院人間科学研究科	H.H さん	「おまつり地球一周クラブ」運営業務、多文化フェスティバルにおける企画運営、「高齢者支援調査事業」など
大阪大学人間科学部	I.A さん	「おまつり地球一周クラブ」運営業務、多文化フェスティバルにおける企画運営など
大阪市立大学大学院 (文部科学省科学技術人材育成費補助 金ポストドクターキャリア開発事業)	O.T さん	「小学校外国語体験活動」運営業務、「哲学カフェ」等

### ◆「ブックトーク in とよなか国際交流センター 家族写真をめぐる私たちの歴史」

同著の出版を記念してのブックトークを開催。日本社会に生きる、さまざまなルーツを持つ女性たち、在日朝鮮人、被差別部落、アイヌ、沖縄、アジア（フィリピン、スリランカ、ベトナム）出身の20代から70代の女性たち24人が「家族写真」を手がかりに自分や家族のことを綴った書籍。萩原弘子さん、皇甫さんはじめ執筆者たちの話をきき、「家族写真」が持つ今日的な意味について参加者と語り合った。

実施日	講 師	参加者数（うち外国人）
9月24日 14:00～16:30	皇甫康子さん（「在日」女性の集まり「ミリネ」代表） 萩原弘子さん（大阪府立大学） 他執筆者	48(12)
合 計		48(12)

### ◆とよなか市制 80 周年記念連続セミナー 新たな多文化共生の地平をめざして～とよなか国際交流センターの過去・現在・未来」

とよなか国際交流センターと共に設立された国際交流協会の創成期、転換期、そして現在を担う4人の新旧事務局長と共に、それぞれの時代および視点から協会の歴史や実践を学ぶとともに、市民および行政との連携・協働について考え、豊中の多文化共生の拠点としての国際交流センターのこれからを考えた。

実施日	テーマ	講 師	参加者数 (うち外国人)
10月8日 14:00～16:00	「とよなか国際交流協会と私～協会の役割と可能性について考える」	雨森孝悦さん（日本福祉大学教授）	36(9)
10月20日 18:30～20:30	「行財政改革と外国人への“非対称性”への気づき～転換期から見えてきたものとこれからの国流」	榎井縁（大阪大学特任准教授／理事）、金相文（常務理事）、山野上隆史（事務局長）	44 (7)
合 計			80 (16)

### ◆「ヘイトスピーチ解消法」を考える～ゆるせない！人種差別を扇動する言動！

近年、在日外国人に対する暴言や暴挙を伴う深刻な人権侵害が繰り返されている。この言動には目に余るものがあり、多くの人たちがこの状態を黙視できないと立ち上がることによって、去る5月24日の国会で「ヘイトスピーチを解消することを目的とした法律」が成立した。しかし、この解消法の中身と対処法には大きな課題を含んでいる。この講座では、ヘイトスピーチの問題点と今回成立の「解消法」についての課題を明らかにするとともに、人種差別を扇動するヘイトスピーチを許さない地域社会をつくるために何か必要かを参加する人たちと共に考える機会とした。

実施日	講 師	参加者数（うち外国人）
7月23日 14:00～16:30	郭辰雄さん（コリア NGO センター代表理事）	44(8)
合 計		44(8)

## 5. 子ども国際事業

### (1) おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。2015年度までおまつり地球一周クラブの中で開催していた「チョアチョアハングル講座」と今年度は合同開催を試みたが、参加者からも好評を得た。

	実施日	テーマ	参加者数 (人)		
			計	子ども	外国人
第1回	6月18日	韓国朝鮮のあそび編	31	16	5
第2回	7月23日	韓国朝鮮のお料理編	35	21	5
第3回	8月18日	おめんを作ろう!	19	11	2
第4回	9月24日	エジプトを楽しもう!	19	10	6
第5回	10月22日	韓国朝鮮のおでかけ編	21	11	7
第6回	11月24日	ルーマニアのこどもたち	27	17	4
第7回	12月24日	一緒にカポエイラ!	30	12	3
第8回	1月29日	韓国朝鮮の楽器と舞踊を体験しよう編	14	7	2
第9回	2月25日	韓国朝鮮のお料理編	22	11	5
第10回	3月27日	イギリスを知ろう!	26	17	9
合計			244	133	48

### (2) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師(ソンセンニム)から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち(チング)とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会を中心となり、「つどい」の運営を進めている。

民族講師(ソンセンニム): 金生遵、柳敬修、金景姫

	日程	内 容	参加者数 (うち外国人)	先生(うち外国人 ※ソンセンニム含む)
—	4月16日	実行委員ミーティング	—	8(3)
第1回	5月21日	開講式・自己紹介・ハングル名札づくり・あそび	13(13)	12(2)
第2回	6月25日	楽しく数字を覚えよう!	14(14)	13(4)
第3回	9月19日	秋夕(チュソク)・地理・作文など	15(15)	10(3)
第4回	10月15日	大阪鶴橋コリアタウンヘフィールドワーク	11(11)	12(1)
第5回	11月19日	多文化フェスティバルに参加しよう	17(17)	10(1)
第6回	12月17日	ソルラルについて・新年のあいさつ・年賀状作り	11(11)	8(3)
第7回	1月28日	調理実習〜キムパブとトックを作ろう〜	20(20)	10(4)
第8回	2月18日	1年間のふりかえりと文集作り	19(19)	6(2)
第9回	3月18日	修了式	15(15)	19(10)
合 計			135(135)	108(33)
総合計			243(168)	

### ◆ハギハッキョ(夏期学校)

日程	名前	場所	参加者
7月26・27日	小学生のハギハッキョ	豊中市立桜井谷東小学校	31
8月9・10日	ハギハッキョ・キャンプ	豊中市青少年自然の家わっぱる	11
合計			42

## Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

### 1. おとなサポート事業

#### (1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談		相談件数（臨時通訳除く）計：1,146件
毎週金曜日	11：00～16：00	
相談員		吉嶋かおり（臨床心理士）
就労相談コーディネーター		植木美恵子
多言語スタッフ	中国語	賈晨
	韓国・朝鮮語	朴貞淑
	フィリピン語・英語	平松マリア
	タイ語	ラッタナセリーウォン・センティアン／トラカウンタロンサック・ターンポー／バーンセン・ピシャモン
	ベトナム語	グエン・ティ・ジェム・ミン
	スペイン語	滝本クラウディア
	インドネシア語／英語	カスィ・プリスカ・サフィトリ
	ネパール語	（協会職員）
臨時通訳		臨時通訳件数：6件

#### ◆相談件数

2016年度の相談件数は1,146件、前年度が973件だったため、前年度比17.8%増だった。相談の多くが、中・長期に渡る継続対応が必要なケースが多い。調停や訴訟を求める相談者が増加傾向にある。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、40%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が多く、約70%を占めた。大阪府下全域では85.2%であり、この割合は例年と変わらない。他に、近畿の他府県だけでなく、電話やメールで全国、海外からも相談が寄せられている。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く46.9%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、継続対応が必要な相談内容が多い。長年実施してきているため、口コミで相談につながっている。次いで中国が8.6%、韓国7.1%、ベトナム4.9%となっている。日本国籍者からの相談も多く、9.5%を占めている。

日本国籍だがルーツが日本以外の方は42件だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は22件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは460件（約40%）、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語（母語）とするものは30件、10カ国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は30カ国に及んだ。

在留資格は定住者35.5%、配偶者10.6%、永住者8.4%だった。

職業では介護職が21.7%、パート・アルバイトが14.0%、無職（主婦を除く）が12%だった。無職は生活保護受給者が多く、就労者はほぼ非正規労働者である。

#### <相談内容と件数>

大項目	内容別件数 (前年度比)	割合 (%)	前年度 件数	小項目 <カッコ内は全件に占める割合 (%) >
夫婦関係	307 (145%)	21.7	210	DV (2.7)、離婚 (11.7)、親権・養育費 (5.5)、不和・不満 (0.8)、国際結婚 (0.8)、その他 (0.2)
手続き	136 (91%)	9.5	148	在留資格など (4.4)、家族呼び寄せ (0.9)、養子 (0.1)、日本国籍取得・帰化 (2.8)、その他 (1.3)
生活	391 (112%)	27.7	346	日常生活 (6.0)、行政手続き (7.0)、住居 (1.8)、日本語学習 (5.5)、金銭問題 (3.5)、交通事故 (0.3)、生活困窮 (1.1) その他 (2.5)
保健	50 (92%)	3.6	53	メンタルヘルス(0.3)、医療(1.8)、母子保健(0.8)、その他 (0.7)
人間関係	32 (84%)	2.2	37	家庭 (1.4)、友人 (0.4)、地域 (0.1)、職場 (0.2)、その他 (0.1)

労働	291 (66%)	20.6	357	求職 (4.2)、就労定着上の問題(1.5)、失業・退職 (0.2)、労災 (0.7)、給料未払 (5.9)、その他 (8.1)
子ども	171 (113%)	12.0	151	子育て (3.3)、学校 (5.4)、保育所・幼稚園 (1.9)、その他 (1.4)
その他	38 (63%)	2.6	60	人権侵害 (0.1)、その他 (2.5)

※1件の相談が複数のテーマにまたがるため、内容別件数全体は相談件数全体より大きくなる。

※2015年度から、「手続き」の中に「日本国籍取得・帰化」と、「生活」の中に「生活困窮」の小項目を設けた。「日本国籍取得・帰化」はジャパニーズ・フィリピン・チルドレンの日本国籍取得手続きの相談がほとんどを占める。「生活困窮」の相談件数は18件だが、生活保護受給者の相談は約100件あり、約10%を占めている。

#### ◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は200件(17.4%)だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題等であった。

豊中市	人権政策室、保健センター、子ども家庭相談室、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター(雇用労働課)、市民相談課
豊中市以外の自治体・学校	女性相談支援機関、他市DV担当、府・他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉事務所、公立高校、
公的支援機関	年金事務所、府・市社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	いくの学園、チャーム他支援団体、JFCネットワーク、人権擁護団体
その他	弁護士、病院、協会事業ボランティア、メディア、研究者

#### ◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
6月26日、7月2日、7月9日、7月17日	通訳者・相談員スキルアップ講座 主催：すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク	3(3)
8月28日	外国籍LGBTの課題や支援方法 講師：大畑泰次郎さん(弁護士) / QWRC	1(1)
1月26日	DV被害者支援と支援者・援助者のセルフケア 講師：宮本由起代さん(大阪心のサポートセンター)	1(1)
2月25日	外国籍LGBT支援者研修会 講師：大畑泰次郎さん(弁護士)	14(9)
	合計	19(14)

#### ◆外国人のための多言語セミナー／一日相談会

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。また、特定のテーマでの専門家による一日相談会も開催した。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
11月25日	外国人女性向け健康セミナー「アールヴェーダで病気と老化を防ぐ」&無料健康相談会 講師：岡部正子さん(アールヴェーダセラピスト) 共催：NPO法人チャーム、協力：豊中市保健センター	36(24)
12月9日	外国人向けセミナー「思春期の子どもとケンカにならない関係づくり～お互いを尊重しよう」 講師：北野真由美さん(エンパワメント堺)	27(24)
12月10日	一日多言語生活相談会@みんなあつまれわくわくランド(庄内) 多言語スタッフ(フィリピン語、インドネシア語、英語、中国語、韓国語、タイ語)	8(7)

2月17日	外国人のための確定申告相談 相談員：税理士1人	7(7)
2月18日	ベトナムの旧正月を祝おう ベトナム語多言語スタッフ	12(11)
		90(73)

#### ◆地域連携

実施日	内容
11月29日	豊中市 保健師会への参加・情報提供(中部保健センター)
8月30日、8月4日、2月6日	子ども施策推進本部連絡会議、実務担当者会議
6月30日	DV防止ネットワーク会議 代表者会議、実務担当者会議
6月3日、27日	虐待防止ネットワーク会議
7月19日、25日、27日、28日、8月12日、16日、2月14日、15日、27日、3月2日、6日、10日	豊中市社会福祉協議会主催 地域福祉ネットワーク会議
10月19日	子育て・子育て支援ネットワーク子ども部会克明小学校区連絡会
7月13日	みんなあつまれわくわくランド実行委員会
	豊中市スポーツ振興事業団の豊中市スポーツ施設案内の多言語案内翻訳協力※継続中(9言語)

#### ◆リコン・アラート(協議離婚問題研究会)の実施、多言語啓発ツールの作成

2014年度に実施したシンポジウムでは、協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から、勝手に離婚届を出されるといふ相談ケースをふまえて国際結婚の事例をもとに、協議離婚制度の問題について提起し、議論を深めた。昨年度は当該ケースに関して共同通信社の取材を継続的に受入れ、全国の多くの地方紙に「勝手に離婚された」事例と協議離婚制度の課題が掲載され、相談事業から見えてきた課題についての問題提起を引き続き行った。今年度は関係団体と協働で当初制度改善のための法務省への申し入れ会議を開催して検討を繰り返したが、当事者への啓発が喫緊の課題であることをうけ、年度途中から「リコン・アラート(協議離婚問題研究会)」(代表事務所：とよなか国際交流協会)に会議の名称を改め、定期的なミーティングと共に、離婚届けの多言語翻訳および当事者向けの多言語啓発ツールである啓発動画&パンフレットと11言語でのウェブサイトならびにフェイスブックページを作成した。(制作費用の一部は、リコン・アラートのメンバーである二宮周平先生(立命館大学)の科研費を利用)

会議実施日	内容	参加者
6月4日14時~16時	協議離婚問題に関する法務省への申し入れ会議 第1回	12(2)
8月16日 10時半~12時	同 第2回会議	11(2)
12月6日10時半~12時	リコン・アラート(協議離婚問題研究会)に会議名変更、第1回会議	17(2)
2月7日10時半~12時	同 第2回会議	12(1)
		52(7)

#### [リコン・アラート構成メンバー]

二宮周平さん(立命館大学)、大谷美紀子さん(弁護士、外国人ローヤリングネットワーク代表)、芝池俊輝さん(弁護士、外国人ローヤリングネットワーク事務局長)、木村雄二さん(外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク RINK)、村西優季さん(NGO 神戸外国人救援ネット)、いくの学園、京都 YWCA・APT、アジア太平洋人権情報ネットワーク(ヒューライツ大阪)、箕面市国際交流協会

URL : <http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>

パンフレット：日本語(4,000部)、英語(6,000部)、中国語(4,000部)、韓国語(4,000部)、フィリピン語(4,000部)、タイ語(2,000部)、ベトナム語(1,000部)、インドネシア語(1,000部)、ロシア語(1,000部)、スペイン語(1,000部)、ポルトガル語(1,000部) 合計 29,000部発行

### ◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談を周知するために情報コーナーを設置し、多言語（9 言語）で情報提供した。

登録学習者数	20 人（ボランティアは 4 人）	
サポートのべ回数	50 回	
サポートのべ時間数	301.5 時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導	
実施日	4 月	5、12、19、26
	5 月	10、17、24、31
	6 月	7、14、21、28
	9 月	6、13、20、27
	10 月	4、11、18、25
	11 月	1、8、15、22、29

### ◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009 年度～2010 年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に

登録学習者数	1 人(ボランティア 1 人)	
サポートのべ回数	5 回	
サポートのべ時間数	9.5 時間	
内容	課題作成のためのサポート	
実施日	1 月	14、16、21、23
	2 月	7

「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっともつつかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。

就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。毎週火曜日の開催とし、試験日の 3 ヶ月前からの実施をおこなった。

#### <その他の資格取得サポート>

介護職員初任者研修資格取得のための個別サポート

#### <協会/むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的に実施した。

参加者数	のべ 29 人
実施日	4 月 25 日、5 月 23 日、7 月 25 日、8 月 29 日、9 月 26 日、10 月 31 日、11 月 28 日、1 月 16 日、2 月 20 日、3 月 27 日

### (2) コミュニティ活動

ベトナム人市民による自主的なコミュニティづくり支援のため、ベトナム人の有志が集まる卓球などのアクティビティ活動場所の提供やコミュニティ周知のための助言・相談を行った。

活動回数	参加者数	内容
20 回	のべ 143 人(うち外国人 140 人)	卓球 ほか

### (3) 防災事業

大規模災害時における外国人市民等への情報提供や支援体制を整えるため、昨年より豊中市と協議を重ねた。2 月 28 日に豊中市と「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」を締結し、災害時における外国人市民等の支援を円滑に行うため、センターの設置・運営並びに当協会と豊中市が果たすべき役割について決めました。さらに、3 月 11 日に「多文化共生フォーラムとよなか 2017 大規模災害時における外国人支援、今後のめざすべき方向とは」を開催した。内容は、①南三陸町在住の佐々木アメリカさんの講演「東日本大震災の経験から」、②国際交流の会とよなかの葛西さんから報告「阪神・淡路

大震災時の取組について」、③熊本地震の対応について視察報告（金相文）、⑤パネルディスカッション「豊中市における外国人支援のあり方を考える」（佐々木アメリカさん、塚本俊也特任教授：大阪大学大学院未来共生イノベーター・プログラム、吉川友香さん：大阪府国際交流財団）に引き続き、当協会と大阪大学大学院国際公共政策研究科とで「外国人への多言語での情報提供に関する協定」を締結した。実際の災害時等に確実に対応するため、今後、地域や外国人コミュニティとのつながり作りが課題としてあげられた。

3月17日には、北消防署の協力の下、日本語交流活動「金あさ」とともに避難訓練を行った。

実施日	内 容	場 所	参加者数 (外国人)
6月29日	とよなか市民環境会議	青年の家 いぶき	1 (1)
3月11日	大規模災害時における外国人支援セミナー	とよなか国際交流センター	52 (10)
3月17日	避難訓練 (火災)	とよなか国際交流センター	46 (23)

## 2. 子どもサポート事業

### (1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数	参加者数 (のべ人数) : うち外国人 ボランティア登録者数 (のべ人数)
木曜日	13:30~15:30	46回	3人	子ども (63) : うち外国人 (63) ボランティア登録者数 (112)
金曜日	10:30~12:00	47回	5人	子ども (432) : うち外国人 (432) ボランティア登録者数 (212)
合 計				子ども (495) : うち外国人 (495) ボランティア登録者数 (324)

### ◆豊中市子ども読書活動連絡会

豊中市では今年度より「豊中市子ども読書活動推進計画」を「こどもすこやか育みプラン・とよなか〜豊中市子育て・子育て行動計画〜」（子ども未来部）の中に組み入れられ、新たに「こども読書活動連絡会」を立ち上げ、年2回の報告会を持つこととなった。協会では、毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行ってきた。これにより、読書活動において「外国人の視点」が地域課題のひとつとして認識されるようになり、図書館との連携という意味でも大きな意味があった。この動きを受け、協会内でも推進計画を具体的に進めていくために、「多文化子ども読書推進事業」を立ち上げ、「外国語絵本コーナー」の設置と8言語による「センター図書案内」を作成し、外国人の子どもが参加するすべての事業で、活動の中に読書推進の取り組みを盛り込むことに努めた。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取り組みを始めており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境がつけられている。

また、今年度も言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本（絵本）と出会うために、多文化子ども保育にこにこ、おやこでにほんご（岡町・庄内・千里）、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。

#### <ハード面での環境整備>

- ①外国語絵本コーナーの整理、周知
- ②市立図書館の外国語図書を配架（半年毎に入れ替え）

#### <ソフト面での環境整備>

- ①外国人親子の居場所づくり（おやこでにほんご）での読み聞かせ（母語・日本語）を行った。
- ②多文化保育にこにこで、絵本の読み聞かせを行った。

実施日	内容	場所
6月2日 2月23日	第1回子ども読書活動連絡会 第2回子ども読書活動連絡会	いずれも 岡町図書館

### ◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として、10月28日はパネル展示12月10日は相談事業の多言語スタッフが参加し、多言語相談コーナーを設置した。今年度はチラシ作成を一部多言語にするため、協会が翻訳協力を行った。(10月29日@柴原体育館、12月10日@庄内体育館)

### (2) 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア(同じ経験をした仲間)サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

実施曜日	次期	時間	回数	参加者数(人)
第2日曜 第4日曜	2016年4月10日 2017年3月26日	10:00~12:00	96回	子ども(111)、ボランティア(118) 合計229人(うち外国人199人)

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数(人)		合計
中国語	24	子ども29	ボランティア25	54
ポルトガル語	24	子ども2	ボランティア21	23
スペイン語	24	子ども41	ボランティア52	93
タイ語	24	子ども39	ボランティア20	59
			総合計	229

<その他>

実施日	内容	参加者数(人)	合計
6月12日	【合同イベント】みんなでブラジル朝ごはん	子ども8、ボランティア10	18
12月25日	【合同イベント】母語サンプレイス合同クリスマス会	子ども14、ボランティア6	20
1月22日	【合同イベント】ペルーの料理(フリホーレス)	子ども12、ボランティア8	20
2月12日	【合同イベント】中国の旧正月(水餃子作り)	子ども17、ボランティア13	30
		合計	88

### (3) 学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。外国にルーツをもつ学生もボランティアとしてかかわっており、そのことで子どもの悩みやニーズへ柔軟な対応を可能とした。今年度は、以前若者支援事業として実施していた「多文化ダンス教室」の子どもたちが、「サンプレイス」の中でダンスを練習することになったため、参加人数が昨年度よりも大幅に増加した。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)	
第一以外 の日曜	4月10日~3月26日	13:00~15:00	40	こども(うち外国人)	371(307)
				ボランティア(うち外国人)	170(115)
				合計(うち外国人)	541(422)

<その他>

実施日	内 容	参加者数 (人)	合計
4月3日	魅惑のエンターテインメントショウ	出演(18)、ボランティア(11)、参加者(110)	139
8月5・6日	全国在日外国人生徒交流会	子ども(1)、職員(1)	2
8月6日	とよなか祭りパフォーマンス	子ども(14)、ボランティア(4)	18
8月14日	夏休みエクステンシブ①	子ども(0)、ボランティア(2)	2
8月28日	夏休みエクステンシブ②	子ども(3)、ボランティア(2)	5
8月28日	流しそうめん	子ども(7)、ボランティア(3)	10
10月22日	さんあいイベント出店	子ども(2)、ボランティア(2)	4
12月25日	母語サンプレイス合同クリスマス会	子ども(12)、ボランティア(8)	20
	総合計		200

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加者数
4月26日	豊中市こども・若者支援協議会担当者からのインタビュー	とよなか国際交流センター	1
5月20日	豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会	とよなか国際交流センター	1
5月23日	池田市立呉服小学校 国際理学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	1
5月31日	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝 施設見学、情報交流	らいとびあ21、暮らしづくりネットワーク北芝事務所、など	2
6月10日	豊中市外国人教育協議会(市外教)担当者会	とよなか国際交流センター	1
7月10日	高校進路相談会(主催:しょうないREK)	庄内公民館	1
7月26、27日	韓国朝鮮の子どものための夏期学校「ハギハッキョ」	豊中市立桜井谷東小学校	1
6月2日	第1回 子ども・若者支援協議会	くらしかん	1
6月9日	子ども施策推進本部会議	豊中市役所	1
7月5日	子ども・若者支援協議会「第1回 豊中市版子ども・若者白書作成部会」	くらしかん	1
8月5日～6日	全国外国人教育推進協議会・東京大会/生徒交流会	国士舘大学/東京都町田市	1
8月28日	とよなか進路フェア(パネル出店)	青年の家いぶき	1
9月6日	外国にルーツをもつ子ども・若者に関する情報共有会	とよなか国際交流センター	1
9月11日	シンポジウム「これからの連携のカタチーひきこもり・若者支援マップが描く未来ー」	ウエル大阪	1
10月13日	豊中市スクールソーシャルワーカー、少年文化館との情報共有	センター	1
10月21日	大阪府立高等学校「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学選抜」説明会	大阪府立東淀川高等学校	2
11月1日	子ども・若者支援協議会「第2回 豊中市版子ども・若者白書作成部会」	くらしかん	1
11月6日	特定非営利活動法人ハニー・ビー主催「さんあいイベント」出店(わた菓子・スマートボール) 参加者内訳:(子ども・若者2、ボランティア2、職員4)	ふれあい緑地(服部西町)	8
11月17日	第四中学校 夜間学級 総合発表会	豊中市立第四中学校	1
12月11日	子どもの権利条約フォーラム2016in 関西	千里金蘭大学	1
12月21日	子どもに関するケース会議	豊中市立小学校	1
1月29日	外国にルーツを持つ子どもネットワーク関西 会議	大阪国際交流センター	1
2月10日	子どもに関するケース会議	豊中市立小学校	1
2月28日	第2回 子ども・若者支援協議会	くらしかん	1

子ども相談 合計 73件

内 容	件数
生活	25
保健	2
人間関係	6
進学・進路・学校	40
合計	73

## Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

### 1. 小学校外国語体験活動事業（豊中市教育委員会受託事業）

豊中市が総合計画で推進している「共に生き共に学ぶ開かれた社会を築く」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働実施している「豊中市小学校英語（外国語）体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した（2006年度より）。地域に暮らす外国人（ボランティア）が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

#### <事業内容>

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として外国語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ①教職員や子どもに地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ②その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③学校に在籍する外国にルーツを持つ・外国籍の子どもたちの自尊感情がはぐくまれ、マイノリティの子どもエンパワメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワメントにもつながる取り組みをした。

#### <実施体制>

<ボランティア：57人（22か国）、コーディネーター5人>

外国語体験活動の中で英語の授業を希望された学校では、英語を第1、第2言語または生活・学習言語としてきたボランティアが中心となって授業を行った。内容についても英語やその他の言語の文系だけにとどまらず、それぞれのルーツの国の文化紹介をおり交ぜた形で授業を進めた。ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度はさまざまであった。

#### <実施実績>

ボランティア数	57人
ボランティア活動総時間数	1,270時間
体験子ども数	約37,500人
ボランティア国籍数	22か国・地域 内訳 〔フィリピン、中国、韓国、タイ、ブラジル、インド、インドネシア、日本、ペルー、アフガニスタン、イギリス、オーストラリア、パキスタン、ハンガリー、バングラディシュ、フランス、ベトナム、マレーシア、モロッコ、モンゴル、ルーマニア、ロシア〕

### 2. 国際教育推進事業

#### ◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3カ年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。

2016年度は、9月1日の第1回協議会の開催のみとなり、具体的な活動や研究・研修はできなかった。

《豊中市国際教育推進協議会の開催について》

- ・協議会の開催 1回

第1回 9月1日 取り組みの方向性 規約と委員構成の確認、研究テーマの設定

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

＜豊能ブロック協議会構成団体＞ 計 22 団体

大阪府教育委員会	豊能地区在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
箕面市教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
能勢町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能町教育委員会	豊能町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
池田市進路保障協議会	(公財) とよなか国際交流協会
豊中市進路保障協議会	(公財) 箕面市国際交流協会
箕面市進路保障協議会	大阪府在日外国人教育研究協議会
豊能郡進路保障協議会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会

＜豊能ブロック 「多言語による進路ガイダンス」＞

実施日時	2016年 11月5日(土) 13:00~16:00 13:00~14:00 進路説明会 14:00~14:20 先輩体験談 14:30~16:00 個人相談会
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	86人 内訳 [ 生徒 12人/保護者 12人/通訳者 11人(5か国) 先輩 2人 /関係者 49人 ]

◆南北コリアと日本のともだち展

2001年北朝鮮で起きた飢餓問題を受けて、「21世紀を平和の世紀としたい」という願いのもとに、日本と朝鮮・韓国・在日コリアンの子どもたちの出会いと交流の場として「ともだち展」が東京で始められた。2011年は東日本大震災の影響で東京開催が困難となり、大阪において実行委員会形式でこの「ともだち展」を大阪国際交流センターならびにとよなか国際交流センターで開催することになった。今年度は6回目の大阪展であった。今回の絵画展のテーマは「わたしの一日をしょうかいます」とした。なお、今年度から豊中展は開催しないことになった。

**【構成団体】** 大阪府ユネスコ連絡協議会(大阪ユネスコ協会、エリーニ・ユネスコ協会、箕面ユネスコ協会)、(特活)アユス仏教国際協力ネットワーク関西事務局、(公財)関西韓国YMCA、国際教育フォーラム、(特活)コリアNGOセンター、在日韓国基督教会館(KCC)、在日コリアン青年連合(KEY)、(特活)とんだばやし国際交流協会、(公財)大阪YWCA、(公財)とよなか国際交流協会

- |           |      |                                |
|-----------|------|--------------------------------|
| ①絵画展示会    | 開催期間 | 12月9日(金)~12月11日(日) 10:00~18:00 |
|           | 場 所  | 大阪国際交流センター 1Fギャラリー             |
| ②トークイベント  | 開催日  | 12月10日(土) 14:00~               |
|           | 場 所  | 大阪国際交流センター 3F会議室1・2            |
|           | テーマ  | 「ピョンヤンでの出会い」(朝鮮を訪問した大学生による報告)  |
| ③多文化コンサート | 開催日  | 12月10日(土) 15:00~               |
|           | 場 所  | 大阪国際交流センター 小ホール                |
|           | 内 容  | 「ともだち平和コンサート」                  |
| ④共同制作     | テーマ  | 「空でつながる東北アジアへたこづくり」(1Fギャラリー展示) |

◆ルーツ教員研究会

1991年1月の日韓外相会談により、日本政府がこれまで国籍条項を設けていた教員採用の門戸を広

げるようになった。しかし、その任用形態は「期限を付さない常勤講師」という完全な開放には至らなかった。そんな中で 2012 年より、この問題に関心のある大学教員や研究者とともに、在日外国人教員の聞き取りや実態調査をすすめてきた。各都道府県市町村において採用されている外国人教員の聞き取りや各地方自治体の教員採用実績等を中心に調査を始めて 5 年目に入った 2016 年度は、外国人教員への聞き取りや採用に関わる経緯の聞き取りとともに諸外国の教員採用における外国人採用の実態調査をすすめてきた。また、障害教員研究会との交流会を 2 度持ち、それぞれの研究実績や課題を共有できた。次年度（2017）は、これまでの調査結果をまとめ、関係者や他の教育研究団体に広く報告会を開催することと、障害教員研究会、部落出身教員の会、LGBT 教員等のマイノリティ教員（研究者も含む）との交流会を持ちたいと考えている。

【研究会開催日】（場所はいずれも、とよなか国際交流センター）

	月日	内 容	人数（うち外国人）
1	5月22日（日）	今年度の調査計画、文献「諸外国の公務員採用」など	10（3）
2	7月30日（土）	新聞記事検索方法、諸外国調査分担、聞き取り報告など	16（6）
3	10月8日（日）	聞き取り報告、報告書内容の概略、新聞記事検索報告など	11（4）
4	1月9日（月）	諸外国調査報告①、新聞記事検索、聞き取り報告など	12（4）
5	3月19日（日）	諸外国調査報告②、報告書作成分担、シンポ開催など、障害教員との交流	38（14）
合計			87（31）

【研究内容】 外国ルーツ教員や関係者の聞き取り、各自治体教育委員会の採用形態と採用実績調査、諸外国の外国人教員採用状況調査

【聞き取り人数】 計 14 人（ルーツ教員 8 人、関係者 3 人、行政・教育機関 3 人）

【諸外国調査】 計 12 か国・地域（韓国、中国、香港、台湾、オーストラリア、アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、フィンランド、南アフリカ）

### 3. 多文化子どもエンパワメント事業

#### （1）とよなか子ども日本語教室

2010 年度に始まった「とよなか子ども日本語教室」から日本語指導者グループ「とよなか JSL」が生まれ、2012 年度より、とよなか国際交流協会・とよなか JSL・行政の三者協働事業「とよなか子ども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業（「子どもはほんごプロジェクト）」が 3 ヶ年計画として始まった。2016 年度は 4 月から 8 月までは昨年度の体制で実施し、9 月より、豊中市教育委員会の提案公募型委託制度による委託事業としてとよなか国際交流協会が受託し、協会は活動の周知や参加希望者の取次ぎ、学校や市教委等との調整役として事業を運営した。実際の指導に関してはとよなか JSL の協力を得ながら進めた

#### ◆とよなか子ども日本語教室の運営

豊中市内の日本語指導が必要な児童生徒を対象に日本語学習のための教室を週 3 回催し、適宜学校とも連絡を取り合った。ボランティアは教室の前後に随時ミーティングを開き、指導内容の確認や振り返り、子どもの情報交換などを行った。子どもの日本語指導者養成講座を修了したボランティアの指導力が継続的なかわりのなかで向上し、さまざまな子どもの日本語力に応じたカリキュラムが作成されると同時に、子ども同士の相互学習にもつながった。また、日本語指導を必要とする子どものスムーズな受け入れや教室内での情報共有に努めた。

日本語学習相談は昨年度並みの件数となった。これは去年同様、（1）「子ども日本語教室」の認知が学校現場や保護者側に進み、開催時間や申し込み方法などの概要についての問い合わせが減少したこと、

(2) 教室に通う子どもの保護者、学校との連携がスムーズにいったため、通級者への相談対応の必要が少なかったためと思われる。

実施日	毎週月曜 15:00~16:30、16:30~18:00
	毎週木曜 15:00~16:30、16:30~18:00
	毎週土曜 14:30~16:00/16:00~17:30
場 所	とよなか国際交流センター
期 間	2015年4月7日~2016年3月18日
回 数	131回
参加者数	子ども のべ 1,689 人、 ボランティア のべ 1,201 人 合計 2,890 人
日本語学習相談	25 件

#### ◆ボランティア募集

今年度は、チラシでのボランティアの募集を行い、新たに2人のボランティアが参加した。昨年度「子どもの日本語指導者養成講座」で実施していた内容を個別対応に切り替えボランティアの養成を行った。

#### (2) 多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、豊中市国際教育推進協議会との共催で多文化フェスティバル(帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂につどい、つながり、交流を深める機会)を例年開催している。

12回目を迎えた2016年度は、参加グループが主体的に体験型ブースを準備し、当日参加者が各ブースの工作や各国のあそび、楽器、衣装などの体験をした。国際教室、韓国朝鮮のことばとあそびのつどい、学習支援「サンプルイス」、池田市の外国にルーツを持つ子どものグループ、「学楽多」・「小学校外国語体験活動事業」など市内・近隣各地で活動している子どもたちや日々サポートしているおとながブース出店や活動紹介に関わった。ベトナム料理の昼食も市内在住の外国人が準備・提供した。

また、大阪大学人間科学科および人間科学研究科よりインターンの学生が運営に携わり、新たな企画の実施なども試みた。

運営参加メンバー	豊中市教育委員会人権教育課・学校教育課、豊中市外国人教育推進協議会、とよなか国際交流協会、大阪大学インターン生
会議日程	9月30日、10月6日、10月28日、11月10日、11月17日、11月18日(計6回)
内 容	昨年度の課題や反省を踏まえ、運営団体や対象となる市民が参加しやすく、交流をはかれるような企画について検討・準備をおこなった。
参加者数	計26人(9月30日4人、10月6日4人、10月28日5人、11月10日5人、11月17日4人、11月18日4人)
多文化フェスティバル	11月19日(土) 10時30分~14時30分
場 所	とよなか国際交流センター
参加人数	235人

#### (3) 若者支援

※平成28年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業により実施。プログラム名「外国人の若者の生活力を地域ではぐくむ日本語サポート事業~わかものxちいきxいばしょ~プログラム」

※委託期間：2016年5月9日~2017年3月20日、※その他の期間は、自主財源で実施

外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。2013年度から2015年度までの3年間の活動(3つの取り組み、計6つの活動)の成果と課題をふまえ、2016年度は居場所づくりの活動を継続するとともに、新たな活動として、夜間中学校や定時制高校に通う若者を対象とした日本語支援、若者の相談を目的とした取り組み、若者に関わる支援者などを実施した。また、行政関係部署や地域若者支援団体などで構成される事業運営委員会においても、新たに現場に関係する4団体の委員を迎え、事業に関する情報共有や助言をいただくなどした。

#### ◆事業運営委員会

実施日	2016年7月7日、11月14日、3月13日(計3回)
メンバー	豊中市 教育委員会 人権教育室 課長 豊中市 教育委員会 帰国・渡日児童生徒相談室 担当者 豊中市 市民協働部 ぐらし支援課 課長

豊中市 市民協働部 くらし支援課 若者担当主幹 豊中市 人権文化部 人権政策課 課長 NPO 法人 ZUTTO 職員 一般社団法人キャリアブリッジ 事務局長 大阪府立桜塚高校定時制 教諭 豊中市立第四中学校 教頭 大阪大学 未来共生戦略機構 特任准教授 大阪大学 未来共生戦略機構 特任助教 地域人権学習会「ぼちぼち」元主催者・社会福祉士 公益財団法人とよなか国際交流協会 事務局長、事業担当者
--

◆外国人の若者の生活力を地域ではぐくむ日本語サポート事業～わかもの×ちいき×いばしょ～プログラム

I. 「～つちかうにほんご～わかもの×ちいき～」

地域に暮らす外国人の若者のなかでも、日本語習得の機会が限られると思われる全日制高校以外(定時制高校、通信制高校、夜間中学校など)に通う若者について、生活言語を中心とした体系的な日本語の指導を実施した。学習者のニーズのあるテーマ設定や、日々の生活や今後の就労などで役立つ日本語の学習を提案するなど、学習者が興味関心をもって学ぶことが出来るような内容を心がけた。また、学習者が関わる他の日本語活動との情報共有や他機関との連携も実施した。

実施日/期間	2016年4月1日～2017年3月31日 毎週土曜日 14時～16時 (※事業委託期間は、2016年6月11日(土)～2017年3月4日(土))
対象	全日制以外の高校もしくは夜間中学に通う外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	29回
内容(一例)	日常生活で使う日本語[普段の生活について、生活で気になる言葉について(動詞の使い分けなど)](6月11日) / 働くための日本語[社会人としての日本語について(敬語などを中心に)](8月27日) / 日常生活で使う日本語&働くための日本語[生活で気になる言葉について(職場でのコミュニケーションなど)](11月26日) / 日常生活で使う日本語[生活で気になる言葉について(日常生活で見かける漢字など)](1月14日)
参加者数	若者 のべ 54人 (うち外国人 54人) 講師 のべ 38人 (うち外国人 20人)

II-①. 「～とびだすにほんご～わかもの×いばしょ」相談してみよう編

外国にルーツをもつ若者が、自分の身近な生活課題に基づいたテーマについて、日本語での交流・コミュニケーションを行った。実際の相談現場で「相談員」として活動するスタッフが講師を務めたため、参加者の生活上の悩みや興味関心などを話を引き出しながら、就労や恋愛・家族関係など、多岐にわたるテーマで、日本語で自分の気持ちを表現したり、日本の労働環境や家庭生活について知る機会をえたりすることができた。

実施日/期間	2016年4月1日～2017年3月31日 毎週土曜日 14時～16時 (※事業委託期間は、2016年5月21日～2017年3月18日)
対象	外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	42回
内容(一例)	就労における不安を日本語で伝え、労働法の知識をやさしい日本語で学んだ(5月28日) / 家族・仕事など複合した課題について日本語で伝えて、課題整理を行った(9月24日) / 学校進学に関する不安を日本語で伝えて、課題整理を行った。(2月4日)
参加者数	若者 のべ 96人 (うち外国人 96人) 講師 のべ 46人 (うち外国人 22人)

II-②. 「～とびだすにほんご～わかもの×いばしょ」たまりば編(しろろ・かたろろ・やってみよう)

外国にルーツをもつ若者のための居場所「若者のたまりば」において、食事づくりや対話の活動を通じて日本語を使った交流、体験活動をおこなった。活動にあたっては、参加者が安心・安全が保障された場で、同じ外国にルーツをもつ仲間(ピア)と出会い、相互に交流できるような場づくりを心

がけた。

内容面では、料理や音楽、進路など、若者が興味関心を持ちやすいテーマの設定を心がけ、趣味に関する日本語表現や気持ちの表現、将来に関する日本語表現の習得を目指した。

実施日／期間	2016年4月1日～2017年3月31日 毎週土曜日 17時～20時 (※事業委託期間は、2016年5月14日～2017年3月18日)
対 象	外国にルーツをもつ若者
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	46回
内容（一例）	みんなのやりたいこと [「やりたいこと」をテーマに、仮定や未来形でのにほんごを学んだ] (6月4日) / パットアイづくり (タイ料理) [タイにルーツをもつ若者に教わりながら、調理と交流を通して飲食・調理に関する日本語を学んだ] (8月6日) / ダンスを学ぼう [ダンスを通して、動作などに関する日本語を学んだ] (10月8日) / たまりばクリスマス会 [自主クリスマス会の開催を通して、催事料理にちなんだ日本語を学んだ] (12月24日)
参加者数	若者 のべ 328人 (うち外国人 328人)
	講師 のべ 46人 (うち外国人 34人)

#### ◇課外活動やアクティビティなど

「若者のたまりば」参加者のニーズにこたえて、通常の活動に加えて、以下のような取組を実施した。

実施日	内容	会場
7月9日	表現活動ワークショップ	とよなか国際交流センター
8月27日	音楽を楽しむ	すてっぷホール
12月17日	出張たまりば (映画『さとにきたらええやん』鑑賞) ※センターでの活動も通常通り実施	ローズ文化ホール
2017年1月14日	音楽ワークショップ	すてっぷホール
1月28日	多言語多文化セミナー「この『自由』な世界の中で」 参加	とよなか国際交流センター

#### Ⅲ-①. ～つなげるにほんご～わかもの活動ボランティア養成講座 (ボランティア・コーディネーター養成研修)

外国にルーツをもつ若者支援事業運営にあたって、今後の持続可能性を念頭に、コーディネーターとして活動全体を運営する人、およびボランティアとして活動の企画・運営に携わる人材育成のための研修を実施した。今年度は、ボランティア・コーディネーターとなる人に学んでほしい多様な人に関わる際の知識や対話の方法、活動のあり方についての視察などに関する講座を、下半期から1～2か月に1回の頻度で開催した。

実施日	テーマ	講 師	参加者数 (うち外国人)
9月4日 (日) 14時～17時	地域の取組から学ぶ① 地域における子どもや若者への先駆的な取り組み実践を、実際に活動現場を視察しながら伺った。<まちあるき編>	暮らしづくりネットワーク 北芝 (箕面市) の職員、ボランティアの皆さん	8 (6)
9月4日 (日) 17時30分 ～19時	地域の取組から学ぶ② 視察を通じて、自分たちの活動を相対化し、課題の洗い出しなどをおこなった。。<レクチャー・交流編>	暮らしづくりネットワーク 北芝 (箕面市) の職員、ボランティアの皆さん	8 (6)
10月2日 (日) 14時～17時	労働法と社会 (入門編) ① 労働法などの社会教育を行うと同時に、関連題材を用いたやさしい日本語教育についても学んだ。	ラボルテ雅樹さん (ユニオンぼちぼち)	14 (8)
10月2日 (日) 18時～21時	労働法と社会 (実践編) ② 労働法などの社会教育を通じて、どのように外国	ラボルテ雅樹さん (ユニオンぼちぼち)	14 (8)

	人当事者や若者たちと向き合うか、実践を通じて考えた。		
10月29日(土) 15時～17時	人とつちかう場づくり・対話づくりについて①大学の哲学の授業で用いる対話の題材を活用しながら、人とのコミュニケーションのあり方について考えた。	菊地建至さん (金沢医科大学)	6 (3)
10月29日(土) 18時～20時	人とつちかう場づくり・対話づくりについて②大学の哲学の授業で用いる教材を活用しながら、実際のコミュニケーション場面を想定しながら、参加者同士で対話表現の実践をおこなった。	菊地建至さん (金沢医科大学)	6 (3)
12月4日(日) 15時～17時	「自分まる！性って人に決められること？」①性の多様性を考えることを通じて、社会的マイノリティのおかれた現状に目を向け、外国人への日本語支援について考える。	田中一步さん、近藤孝子さん (にじいろ i-Ru)	6 (4)
12月4日(日) 17時～19時	「自分まる！性って人に決められること？」②参加者同士で意見を出し合いながら、多様な生活背景をもつ参加者が集う日本語活動のよりよいあり方について考える。	田中一步さん、近藤孝子さん (にじいろ i-Ru)	6 (4)
2017年2月5日(日) 15時～17時	識字・日本語教室の運営と実践のあり方①識字・日本語教室の運営経験や参加者との交流の在り方をきき、よりよい日本語活動について考える。	阿部寛さん(社会福祉士、 人権学習会「ぼちぼち」)	7 (4)
2月5日(日) 17時～19時	識字・日本語教室の運営と実践のあり方②識字・日本語教室の運営経験や参加者との交流の手法を実践し、日本語活動について考える。	阿部寛さん(社会福祉士、 人権学習会「ぼちぼち」)	7 (4)
3月4日(日) 17時～18時15分	相談員の手法から学ぶ ～参加者に寄り添った傾聴方法とやさしい日本語でのコミュニケーション～	金湖蓮さん(性暴力被害者 支援センター「ひょうご」)	8 (6)
3月5日(日) 15時～18時	識字・日本語教室の運営と実践のあり方③識字・日本語教室の実践手法を体験し、自分たちの活動にどのように反映するか意見を出し合う。	阿部寛さん(社会福祉士、 人権学習会「ぼちぼち」)	4 (2)
		合計	94 (58)

### Ⅲ-②. ～つなげるにほんご～わかもの活動ボランティア養成講座(活動報告会&つながりワークショップ)

外国人の若者特有の日本語教育課題や活動のあり方について、地域市民や関係団体に向けて、新たな活動の提案や活動の周知を目的とした報告会形式の催しを、ボランティア・当事者が中心となって企画、運営した。報告会は、昼の時間帯に開催し、同日に一般財団法人とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」が主催する若者支援関連のシンポジウム参加者にも参加してもらいやすいよう工夫を行った。

また、同日開催のイベントとして、若者に関心の高い「恋愛」をテーマに、恋愛や性について正しい知識や情報を身につけ、参加者同士で考えを深め合うワークショップを実施した。

2016年度若者支援事業 活動報告会/つながりワークショップ	
実施日/期間	2017年3月4日 ①活動報告会 13時～14時30分 ②つながりワークショップ 15時～16時45分
対象	外国にルーツをもつ若者、活動に関心のある地域市民、学校・行政等関係者、若者支援民間団体関係者など
場所	とよなか国際交流センター
内容	2016年度の若者支援事業について、活動運営に関わったコーディネーター・講師・活動参加者などから、活動のふりかえり・成果についての報告をおこなった。
参加者数	①17人(うち外国人5人) ②9人(うち外国人8人) 合計 26 (13)

**(4) てーげーコミュニケーションズ (多文化エンパワメント・メディアプロジェクト) (※自主事業)**

昨年度の多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト「てーげー部」の活動を、色々な活動のニッチな部分に入り込んだ映像制作やメディア活動をおこなう集まり「てーげーコミュニケーションズ」として再編成した。今年度は、昨年度から取り組んできた DVD 作品『ぼくと沖縄と みんな』を完成させ、頒布をおこなうことができた。また、2016年4月3日に開催された多文化ダンス教室・若者クラス合同発表会『魅惑のエンタテインメント・ショー』の本番や舞台裏を撮影した DVD 作品『魅惑のエンタテインメント・ショー』(2枚組)を作成した。

『ぼくと沖縄と みんな』については、随時頒布や上映をおこない、観た方からの反響もいただいている。また、下半期からは協議離婚問題を扱った『リコン・アラート』のネット動画の制作・編集にも協力した。

実施日/期間	2016年5月20日、6月5日、6月19日、7月3日、7月17日、9月11日、12月25日、12月27日、2017年1月16日、2月5日、2月12日、2月19日、2月21日、3月10日、3月13日、3月14日、3月17日、3月21日
対 象	外国にルーツをもつ若者および映像作成やメディア活動に興味がある人
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	18回
内容 (一例)	映像編集のためのミーティング (6月5日) / DVD 制作作業・打合せ (9月11日) / 映像制作打合せ・デモ版 DVD 作成 (12月25日)
参加者数	のべ 47人 (うち外国人 26人)

**(5) 生活困窮者自立支援事業 子どもの学び場「学楽多」**

今年度の新規事業で、豊中市くらし支援課の委託を受けて「生活困窮世帯の子どもの学習支援」事業として行うことになった。委託の予算や仕様書、契約手続き等で時間がかかり、5月契約の6月28日スタートとなってしまった。学び支援の名称を「子どもの学び場『学楽多 (がらくた)』」とし、とよなか国際交流センターとしょうないガダバの2か所で行っている。とよなか国際交流センターでは6月～8月は火曜日 17:00～19:00 に、9月～3月は金曜日 (同時間) に行い、しょうないガダバでは毎週火曜日の 16:00～20:00 に行ってきた。子ども学習広場「学楽多」は2か所を合わせて80回行い、教科学習にとどまらず多様な学びができた。子どもは延べ183人参加し、ボランティアはのべ175人が子どもの学びを支援した。多文化フェスティバルへのブース参加や2か所合同のクリスマス会の開催などまた、保護者の教育相談や学校と縫協議やケース会議によって、卒業式や中学校進学への課題を共有し、その課題解決に向けた取り組みができた。

**【実施回数と年間のべ人数】**

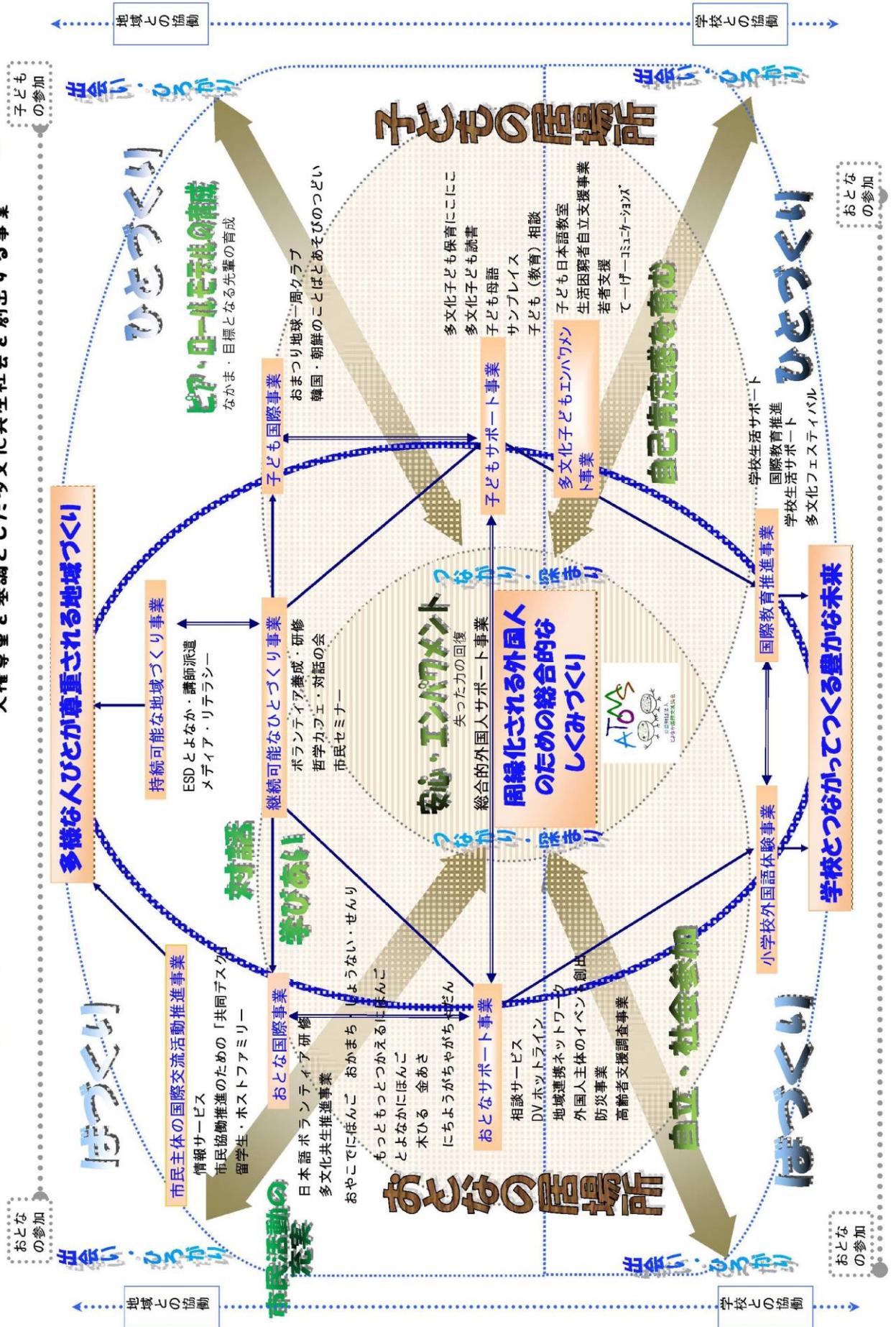
場所	実施曜日	実施時間	参加のべ人数 (うち外国人)	のべ回数
とよなか国際交流センター	火曜 (6/28～9/6)	16:00～18:00	子ども 147 (86) ボランティア 98 (24)	40回
	金曜 (9/16～3/24)			
しょうないガダバ	金曜 (6/28～3/28)	16:00～19:00	子ども 36 (36) 、ボランティア 77 (0)	40回
総合計			子ども 183 (122) ボランティア 175 (24)	80回

2016年度

# 公益財団法人とよなか国際交流協会事業体系

公益目的事業：地域の市民の主体的な参加による、  
人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業

は協会の重点課題である  
総合的・外国人支援事業の  
範囲をします。



## IV. 施設管理受託事業

### ◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流・男女共同参画目的利用の市民や一般利用者に対して公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数	58,167人	前年度比	4,747人	減
全利用者のうち外国人の利用者数	22,941人		3,389人	減
年間貸室件数	5,798件		85件	増
国際交流目的での貸室件数	4,901件	全貸室との比率	84.5	%

### ◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務（豊中市からの受託）の施設貸出業務について

#### ① 2016年度(2016年4月～2017年3月) 月別・部屋別 使用件数・使用率

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	26	401	4,378	1,930
5月	27	454	5,360	2,133
6月	25	453	4,987	2,033
7月	27	482	4,723	1,920
8月	26	481	3,464	1,295
9月	26	525	7,905	3,369
10月	27	514	4,899	1,978
11月	25	541	4,901	1,936
12月	24	500	4,700	1,714
1月	24	463	3,944	1,457
2月	24	493	4,647	1,573
3月	26	491	4,259	1,603
合計	307	5,798	58,167	22,941

#### ② 2016年度(2016年4月～2017年3月) 月別・部屋別 使用件数・使用率 (単位 上段：件、下段：%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	42	47	47	48	49	53	49	49	46	45	41	54	570
	使用率	53.8%	58.0%	62.7%	59.3%	62.8%	67.9%	60.5%	65.3%	63.9%	62.5%	56.9%	69.2%	61.9%
会議室2A	件数	37	39	40	34	44	44	41	45	32	30	29	38	453
	使用率	47.4%	48.1%	53.3%	42.0%	56.4%	56.4%	50.6%	60.0%	44.4%	41.7%	40.3%	48.7%	49.2%
会議室2B	件数	38	39	41	35	41	46	46	45	33	31	35	36	466
	使用率	48.7%	48.1%	54.7%	43.2%	52.6%	59.0%	56.8%	60.0%	45.8%	43.1%	48.6%	46.2%	50.6%
会議室2C	件数	38	35	42	38	45	43	44	47	40	34	38	40	484
	使用率	48.7%	43.2%	56.0%	46.9%	57.7%	55.1%	54.3%	62.7%	55.6%	47.2%	52.8%	51.3%	52.6%
会議室3	件数	26	43	37	31	38	35	45	48	32	33	35	39	442
	使用率	33.3%	53.1%	49.3%	38.3%	48.7%	44.9%	55.6%	64.0%	44.4%	45.8%	48.6%	50.0%	48.0%
会議室4	件数	51	65	62	65	61	62	60	59	51	50	54	59	699
	使用率	65.4%	80.2%	82.7%	80.2%	78.2%	79.5%	74.1%	78.7%	70.8%	69.4%	75.0%	75.6%	75.9%
会議室5	件数	50	51	46	56	52	53	61	56	53	48	50	54	630
	使用率	64.1%	63.0%	61.3%	69.1%	66.7%	67.9%	75.3%	74.7%	73.6%	66.7%	69.4%	69.2%	68.4%
料理室	件数	21	35	30	40	28	39	37	35	45	34	42	37	423
	使用率	26.9%	43.2%	40.0%	49.4%	35.9%	50.0%	45.7%	46.7%	62.5%	47.2%	58.3%	47.4%	45.9%
音康ルーム	件数	43	34	39	48	47	48	45	40	40	40	38	36	498
	使用率	55.1%	42.0%	52.0%	59.3%	60.3%	61.5%	55.6%	53.3%	55.6%	55.6%	52.8%	46.2%	54.1%
和室	件数	18	20	24	34	28	32	33	26	28	31	28	30	332
	使用率	23.1%	24.7%	32.0%	42.0%	35.9%	41.0%	40.7%	34.7%	38.9%	43.1%	38.9%	38.5%	36.0%
ブレイルーム1	件数	14	20	21	20	19	34	21	33	31	27	27	30	297
	使用率	17.9%	24.7%	28.0%	24.7%	24.4%	43.6%	25.9%	44.0%	43.1%	37.5%	37.5%	38.5%	32.2%
ブレイルーム2A	件数	15	14	14	18	17	19	18	29	37	32	41	25	279
	使用率	19.2%	17.3%	18.7%	22.2%	21.8%	24.4%	22.2%	38.7%	51.4%	44.4%	56.9%	32.1%	30.3%
ブレイルーム2B	件数	8	12	10	15	12	17	14	29	32	28	8	13	198
	使用率	10.3%	14.8%	13.3%	18.5%	15.4%	21.8%	17.3%	38.7%	44.4%	38.9%	48.6%	16.7%	21.5%
総件数		401	454	453	482	481	525	514	541	500	463	493	491	5798
開館日数		26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307
使用率		39.5%	43.1%	46.5%	45.8%	47.4%	51.8%	48.8%	55.5%	53.4%	49.5%	52.7%	48.4%	48.4%

③ 2016年度(2016年4月～2017年3月) **国際交流目的** 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率  
(単位 上段：件、下段：%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	40	44	45	48	48	52	48	49	44	42	39	48	547
	使用率	51.3%	54.3%	60.0%	59.3%	61.5%	66.7%	59.3%	65.3%	61.1%	58.3%	54.2%	61.5%	59.4%
会議室2A	件数	35	35	39	33	43	39	40	44	31	27	29	34	429
	使用率	44.9%	43.2%	52.0%	40.7%	55.1%	50.0%	49.4%	58.7%	43.1%	37.5%	40.3%	43.6%	46.6%
会議室2B	件数	37	37	40	34	40	42	44	44	31	30	35	33	447
	使用率	47.4%	45.7%	53.3%	42.0%	51.3%	53.8%	54.3%	58.7%	43.1%	41.7%	48.6%	42.3%	48.5%
会議室2C	件数	36	33	40	35	45	41	37	43	36	31	35	37	449
	使用率	46.2%	40.7%	53.3%	43.2%	57.7%	52.6%	45.7%	57.3%	50.0%	43.1%	48.6%	47.4%	48.8%
会議室3	件数	24	41	33	30	37	32	42	43	32	32	33	38	417
	使用率	30.8%	50.6%	44.0%	37.0%	47.4%	41.0%	51.9%	57.3%	44.4%	44.4%	45.8%	48.7%	45.3%
会議室4	件数	51	65	62	65	60	61	60	58	50	49	53	58	692
	使用率	65.4%	80.2%	82.7%	80.2%	76.9%	78.2%	74.1%	77.3%	69.4%	68.1%	73.6%	74.4%	75.1%
会議室5	件数	50	50	45	54	49	51	57	53	48	46	48	52	603
	使用率	64.1%	61.7%	60.0%	66.7%	62.8%	65.4%	70.4%	70.7%	66.7%	63.9%	66.7%	66.7%	65.5%
会議室総件数		273	305	304	299	322	318	328	334	272	257	272	300	3584
開館日数		26	27	25	27	26	26	27	25	24	24	24	26	307
会議室使用率		50.0%	53.8%	57.9%	52.7%	59.0%	58.2%	57.8%	63.6%	54.0%	51.0%	54.0%	54.9%	55.6%

④ 使用料の収入の状況：

とよなか国際交流センター使用料（平成28年(2016年)4月～平成29年(2017年)3月納付分）  
計 1,823,040 円

2016年度（2016年4月～2017年3月）安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーティションの開閉事故	③電球取り替え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・状況・内容等
4月	無し	無し	無し	無し	
5月	無し	無し	無し	無し	
6月	無し	無し	無し	無し	
7月	無し	無し	無し	無し	
8月	無し	無し	無し	無し	
9月	無し	無し	無し	無し	
10月	無し	無し	無し	無し	
11月	無し	無し	無し	無し	
12月	無し	無し	無し	無し	
1月	無し	無し	無し	無し	
2月	無し	無し	無し	無し	
3月	無し	無し	無し	無し	

## V. その他

### ◆視察受け入れ等

	日時	受け入れ	人数
1	6月3日	東大阪市役所	4
2	6月10日	庄内図書館	2
3	6月25日	長崎市国際課	1
4	6月27日	中央大学文学部人文社会学科教育学専攻	6
5	7月5日	子育て支援センターほっぺ	2
6	8月2日	千里高校スーパーグローバルハイスクール	27
7	9月8日	豊中市2年目研修	6
8	9月23日	豊中市立克明小学校	10
9	10月6日	豊中市立克明小学校	5
10	10月24日	JICA 国別研修(タイ)	17
11	10月25日	八幡屋日本語教室	3
12	10月27日	大阪女学院大学	30
13	11月26日	大阪大学文学部	10
14	12月4日	相愛大学	2
15	12月16日	大阪大学大学院人間科学部グローバル人間学科目	18
16	1月13日	豊中市立千成小学校	54
17	2月14、17日	京都市左京保健センター母子・精神保健係	3
			計 200 人

### ◆「地域体験学習 CUL（カル）」職場体験

豊中市立中学校生徒の受入れ 10月25日、27日に1校、2人を受け入れ（第3中学校より）

### ◆事業評価会

市民参加型の事業評価会を3月25日に例年通り開催し、今年度の成果や課題について発表した（参加者58人、うち外国人12人）。

### ◆新春のつどい

1月21日に「新春のつどい」を開催し、センター・協会事業の紹介、関係者間の交流を行った。センター・協会事業の関係者以外にも市役所職員や議員（市議会、府議会、国会）、駐日領事らの参加があった。

### ◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(26団体)

公共施設予約システム運営部会	克明小学校区連絡会	識字・日本語とよなか連絡会
みんなあつまれわくわくランド実行委員会	地域支援保育士例会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター	こども施策推進連絡会議	豊中市公益市民活動推進会議
豊中市国際教育推進協議会	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市児童虐待防止ネットワーク会議
豊中市人権啓発市民ネットワーク会議	豊中市人権相談機関ネットワーク会議	豊中市DV防止ネットワーク会議
豊中市教職員組合	豊中市地域社会福祉活動計画推進委員会	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市保健師会	とよなか市民環境会議	豊中市子ども若者支援協議会
豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル	豊中市協働推進本部会議幹事会	人権関係施設連絡会議
豊中市防災会議	豊中市障害者差別解消支援地域協議会	

その他 (17 団体)

大阪大学大学院臨床哲学研究科	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中市民生委員・児童委員協議会(四地区)	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
関西子どもの権利条約フォーラム実行委員会	全国外国人教育研究協議会(全外教)大阪大会実行委員会	南北アジアと日本のともだち展実行委員会
「ひと・まち・出会い夏祭り」実行委員会	アジア国際学園	国際交流の会とよなか (TIFA)
大阪府行政書士会豊能支部	大阪府人権協会	

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加（もしくは主催）した。（協会主催の研修会は㊦印で太字）

実施日	内容（主催）
4/22	田中副市長と大源教育長の対談（大阪大学未来共生機構授業）@庄内少年文化館
6/7	相談員・通訳者研修 1 @OFIX
6/13	相談員・通訳者研修 2 @OFIX
7/23	㊦「ヘイトスピーチ解消法を考える」 @とよなか国際交流センター
7/9	新任ボランティアコーディネーター基礎研修@エル・おおさか
8/28	外国籍 LGBT の課題と支援方法@QWRC
11/28	関わりの難しい保護者支援について@すてっぷホール
11/11	㊦ライフワークバランス研修会@とよなか国際交流センター
10/19	アウトリーチ講習会：ひきこもり支援の概論@くらしかん
11/10	㊦人権研修 ウトロ地区視察訪問@京都
11/16	アウトリーチ講習会：アウトリーチの実践@いぶき
11/29	ふしぎな部落問題①@らいとびあ 21
12/10	ふしぎな部落問題③@らいとびあ 21
12/10	トッカピ子ども会セミナー 外国籍教員について@安中人権コミュニティセンター
12/21	アウトリーチ講習会：元当事者の体験から学ぶ@くらしかん
1/14	アウトリーチ講習会：地域資源の共有@しょうないガダバ
1/26	DV 被害者支援と支援者・援助者のセルフケア@すてっぷホール
2/18	アウトリーチ講習会：地域資源マップの作成
2/11	KFC20 周年 記念講演会
2/22	自殺防止サポーター養成講座@HRC ビル
2/25-27	㊦沖縄視察研修（沖縄市国際交流協会、沖縄国際交流フェスタ、アメラジアンスクールインオйнаワ等）
2/1-3	㊦熊本地震被災地視察（熊本市国際交流事業団、コムスタカ、熊本イスラミックセンター等）
3/12	大阪大学未来共生セミナー「かたる、であう、たぐりよせる～アイヌ舞踏家と哲学者を迎えて」
3/18-20	㊦若者支援研修（フィリピンナガイサ、川崎市ふれあい館、遊悠学舎、浜松国際交流協会、わたり食堂等）
公益法人・総務関係研修	
4/7	ガントチャートで把握する公益法人・一般法人の年間スケジュール
4/28	定期提出書類作成に関する説明会
5/13	変更登記を滞りなく済ませるための書式例と留意点
9/16	立ち入り検査のポイントと対策
11/11	マイナンバー制度対応 2 年間でマスターする年末調整セミナー@大阪第一生命ビル
11/24	経理実務特別講習会（中級コース）@大阪リバーサイドホテル
12/9	法人セミナー 人事について@大阪第一生命ビル
12/13	公益法人セミナー（人事について）@大阪科学センター
1/16	基礎から学ぶ「区分整理と配賦基準」@大阪リバーサイドホテル
1/19	公益法人・一般法人のための決算実務講座（仕込み編）
2/7	公益法人・一般法人のための決算実務講座（仕上げ編）
2/23	法人セミナー（非正規雇用について）@大阪リバーサイドホテル